

令和4年度 事業報告

いのちを守る赤十字



日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練にて活動報告を行う医療救護班

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

- 01 令和4年度 TOPICS
- 03 災害救護
- 10 国際活動
- 12 赤十字奉仕団
- 19 青少年赤十字
- 22 救急法などの講習
- 26 日赤活動資金の募集
- 40 医療事業
- 43 看護師養成
- 45 血液事業
- 47 社会福祉事業
- 49 評議員会
- 50 監査報告
- 52 決算報告
- 60 資料編



赤十字の誕生

スイス人の実業家アンリー・デュナンは1859年、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで4万人の死傷者に遭遇します。

「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救わなければならない」との信念のもと、村人たちと協力して救護活動にあたりました。そして、この体験を『ソルフェリーノの思い出』という本にまとめ、以下の必要性を訴えました。

- ①戦場の負傷者と病人は敵味方の区別なく救護すること
- ②そのための救護団体を平時から各国に組織すること
- ③この目的のために国際的な条約を締結しておくこと

この思想がヨーロッパ各国に反響を呼び、1864年に戦争犠牲者の保護・救済のためのジュネーブ条約が調印され、国際赤十字が誕生しました。



長野県支部の誕生

明治10(1877)年、博愛社として設立された日本赤十字社は、各県に「支部」の設置に取り組みました。

長野県では明治22(1889)年、県庁内に支部を設置後、明治32(1899)年には、現在の地に事務所を建設し、赤十字思想の普及と事業拡大の拠点としました。

令和4年度 TOPICS



日頃、日本赤十字社長野県支部の活動に対しまして、関係者をはじめ、多くの県民の皆さまから多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延が続く中、ウクライナにおける人道危機やトルコ・シリア地震など、多くの人々が様々な脅威にさらされた年でした。世界各地の人道危機に対しては、救援金の受付をはじめ、現地に職員を派遣するなど、世界最大のネットワークを活かした赤十字活動を展開してまいりました。また、赤十字病院では、医療のひっ迫が懸念される日々が続きましたが、安全・安心な医療を守るため、職員が就業前の検査や感染防止に努めながら、職員一丸となって最善を尽くしました。

このような状況の中でも、長野県支部では、活動理念である“人道”のもと、人間のいのちと健康、尊厳といった赤十字の使命に関わる領域で「救う」活動を続けてまいりました。

県民の皆さまから、より一層信頼される赤十字を目指した活動をここに報告いたします。

「日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練」の実施 大規模災害に備え、連携した救護活動の展開を目指して

地震や大雨災害等の災害が発生した際、“いのちを守る赤十字”として、円滑に連携した救護活動が展開できるよう、毎年、赤十字の中部8県（富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、長野）の支部が合同で訓練を行っております。令和4年度は、当支部が当番となり、11月3日に諏訪赤十字病院及び諏訪湖イベントホールを会場にして、様々な訓練を行いました。



ウクライナ人道危機に対する支援



皆さまからお寄せいただいた 救援金は全額ウクライナへ

令和4年2月24日以降、ウクライナ各地で甚大な人道危機が発生しました。日赤では、この未曾有の人道危機の支援として、いち早く救援金を募集したほか、ウクライナから隣国ポーランドへ逃れてきた避難者の心のケアに携わるため、諏訪赤十字病院職員1人をポーランド赤十字社に派遣しました。

長野県赤十字血液センター松本事業所の開設

安全で安心な血液製剤の供給

諏訪出張所及び松本供給出張所の老朽化に伴い2施設を統合して、新たに「松本事業所」を開設し、令和5年1月23日から業務を開始しました。新事業所は、松本ICに至近であることから、移動採血車及び血液供給車運行の利便性も高く、中南信地域の医療機関へ、いち早く、血液製剤を供給する拠点として、運営していきます。



諏訪赤十字病院 創立100周年



地域の皆さまと共に

諏訪赤十字病院及び諏訪看護赤十字看護専門学校は、令和5年1月をもって創立100周年を迎えました。1月28日には記念式典等を挙行之、100年にわたる歴史を振り返りながら、諏訪地域の基幹病院としての役割を果たすべく、決意を新たにしました。

1 災害救護



(日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練にてブリーフィングを受ける救護班)

組織力を結集し
災害に備える

災害救護活動は、日本赤十字社法及び日本赤十字社定款に規定されている基本的業務です。また、日本赤十字社は災害対策基本法によって指定公共機関として位置付けられており、重要な役割を担っています。

長野県支部では、県内各赤十字病院に医療救護班を常備するほか、日赤災害医療コーディネーター及び同コーディネートスタッフとして赤十字病院及び支部事務局職員を任命し、あらゆる災害に適切に対応できるよう救護体制を整えています。

令和4年度は、日本赤十字社第3ブロック支部（富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、長野）合同の災害救護訓練を実施し、各県支部の協力体制のもと、円滑な救護活動が展開できるよう救護班及び災害対策本部要員の技術・知識の標準化を図りました。

また、今後起こりうる大規模災害に備え、救援物資の備蓄を増やすとともに、株式会社綿半ホームエイド様のご協力のもと、同社の店舗において防災減災イベントを実施するなど、県民に対する防災・減災意識の啓発・普及にも努めました。

(1) 災害時緊急支援体制の強化

ア 医療救護班

災害や大事故が発生した際、直ちに被災地や事故現場へ医師・看護師等を派遣するため、県内の各赤十字病院に医療救護班 16 班を常備しています。この医療救護班は、医師1人、看護師長1人、看護師2人、主事2人の計6人を基準として編成しています。

イ 日赤災害医療コーディネートチーム

被災地における医療ニーズの把握や被災状況などの情報収集、他の関係機関との連絡調整を行うため、各赤十字病院に日赤災害医療コーディネートチームを配置しています。

このチームは、災害医療コーディネーター(医師) 1人、コーディネートスタッフ(看護師、事務職員等) 3～4人で編成しており、令和4年度は、コーディネートスタッフを新たに4人増員し、コーディネートチーム体制を強化しました。

ウ 血液供給要員

迅速な血液製剤の輸送のため、県内赤十字血液センターの各所に血液供給要員を配置しています。

エ 防災ボランティア

被災者に対する応急救護・復旧等の活動を支援する防災ボランティアを組織しています。

(2) 各種訓練の実施

ア 第3ブロック支部合同災害救護訓練

11月3日、諏訪赤十字病院及び諏訪湖イベントホールにおいて、日本赤十字社第3ブロック支部合同による災害救護訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害が発生した時にブロック各県支部が連携し、迅速かつ効果的な救護活動が展開できるよう毎年実施しているもので、今年度は糸魚川-静岡構造線断層帯を震源とする地震により諏訪地域が甚大な被害を受け、傷病者及び避難者が多数発生したとの想定のもと、病院支援のための傷病者トリアージや拠点救護所に押し寄せる傷病者への対応、避難所アセスメント・巡回診療、血液製剤の緊急搬送訓練などを行いました。

訓練には、長野県及び諏訪市、消防機関、地元医師会のほか、第3ブロック各県支部及び山梨県支部の医療救護班、支部災害対策本部要員、血液供給要員、防災ボランティアなど440人が参加し、第3ブロック各県支部及び関係機関等との連携強化を図りました。



救護班への活動内容の伝達



避難所巡回診療

イ 支部災害対策本部運営訓練

7月30日、長野県支部において支部災害対策本部運営訓練を実施し、災害発生時における支部職員の初動対応や救護用資機材の取り扱い方法等についての知識・技術の習熟を図りました。訓練では、災害時に医療救護所として活用するドラッシュテントを実際に設営するなど、今後起こりうる大規模災害に備えました。



ドラッシュテントの設営

ウ その他の救護訓練

訓練名	実施日	開催地	参加人員 (人)
天竜川上流総合水防演習	令和4年5月22日	飯田市	6
長野県地震総合防災訓練	9月1日	長野市	2
長野県総合防災訓練	10月23日	松本市	9
長野県国民保護共同図上訓練	11月8日	長野市	1

(3) 各種研修の実施

ア 医療救護班研修

医療救護班を対象に、災害時における医療救護班の役割や活動内容の理解、無線や衛星携帯電話等の情報ツール及び救護資機材に関する知識の向上を図るために実施しました。

実施日	開催形式	参加人員 (人)
令和4年6月4日	Web形式	43



オンラインを活用した講義

イ こころのケア研修

災害時に被災者や救援者が受けるストレスを緩和するための「こころのケア」は、赤十字が行う災害救護の重要な活動として位置づけられています。

こころのケア活動の一層の充実を図るため、医療救護班要員等を対象に研修を実施し、被災者が被る心理的影響の特性やその対応方法等について理解を深めました。

地域	実施日	会場	参加人員 (人)
中南信	令和4年6月11日	諏訪赤十字病院	25
東北信	16日	長野県支部	10



グループワーク



被災者に寄り添う傾聴の演習

ウ 救護員としての赤十字看護師研修

災害時に救護員の立場と役割を理解し、的確に判断・行動ができる赤十字の救護看護師を養成するため、県内赤十字病院の看護師を対象に研修を実施し、災害救護に関する最新の知識・技術の習得を図り、質の高い救護看護師の育成に努めました。

地域	実施日	会場	修了者数(人)
中南信	令和4年7月15日、8月3日 10月8日	諏訪赤十字病院 (一部Web形式)	21
東北信	10月4日～6日	長野県支部	29

エ その他の救護研修

研修名	実施日	開催地	参加人員 (人)
日赤災害医療コーディネート研修会 (指導スタッフ研修会)	令和4年9月10日 ～11日	東京都	3
全国赤十字救護班研修会 (指導スタッフ研修会)	10月22日 ～23日	東京都	2
日赤災害医療コーディネート研修会	令和5年1月21日 ～22日	東京都	1
全国赤十字救護班研修会	2月11日 ～12日	愛知県	5

(4) 救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、災害救護用資機材と被災者の支援、県民の安心・安全に役立てるための救援物資を整備しました。

ア 令和4年度に整備した主な救護資機材

品名	数量	配備先
災害業務用自動車	2	埴科郡地区、富士見町分区
救護員用ヘルメット	175	県内赤十字施設
救護員用安全靴	225	県内赤十字施設
救護員用空調服	175	県内赤十字施設
日赤業務用無線機	1	支部

イ 令和4年度に整備した救援物資

品名	数量(枚)
毛布	700



緊急セット
(携帯ラジオ、懐中電灯、歯ブラシ、軍手など)



安眠セット
(マットレス、アマスク、耳栓、空気枕など)



毛布

(5) 「防災・減災」意識の啓発・普及

広く県民に対し「防災・減災」意識の啓発、普及を図るため、株式会社 綿半ホームエイド様と連携し、上田市内の店舗において防災・減災イベントを実施しました。



イベントでは、「備える」をテーマに、防災・減災に役立つ物品や救援物資の展示、心肺蘇生・AEDなどの救急法体験、防災に関するクイズラリー、炊き出しや無線通信体験、日赤災害車両の展示などを行い、防災・減災に関する知識の普及を図りました。



AED の使い方を学ぶ親子



防災・減災のクイズに挑戦する子どもたち

(6) 各種イベント・スポーツ大会等における臨時救護活動の実施

県内各地の体育大会等の行事に、医師・看護師等を派遣し、救護活動を実施しました。

派遣年度	派遣延日数 (日)	派遣救護員 (人)			
		医 師	看護師等	主事等	合 計
令和4年度	273	29	211	22	262
(前年度)	(38)	(1)	(37)	(0)	(38)

(7) 義援金の受付

国内で発生した災害の被災者に対し、生活を支えるための義援金を受け付けました。寄託された義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じ、全額被災者に届けられます。

名 称	災害発生年月	件数 (件)	金額 (円)
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	平成30年7月	32	100,093
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	令和 2年7月	56	284,517
令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金	令和 4年3月	69	421,308
令和 4 年 7 月大雨災害義援金	7月	50	264,611
令和 4 年 8 月 3 日からの大雨災害義援金	8月	133	1,141,181
令和 4 年台風第 15 号災害義援金	9月	43	303,227
合 計		383	2,514,937

(8) 見舞金品の配分

県内で発生した豪雨、地震、火事などの被災者に対し、「長野県支部災害被災者見舞規程」に基づいて、見舞金及び見舞品を配分しました。

年 度	見舞金 (円)	毛布 (枚)	緊急セット (個)	安眠セット (個)
令和4年度	60,000	68	6	6
(前年度)	(170,000)	(54)	(0)	(0)

2 国際活動



(ワールドファーストエイドデーイベントで応急手当を学ぶ学生)

世界の災害・ 紛争への対応

日本赤十字社は、世界 191 の国や地域に広がる国際赤十字・赤新月社連盟（「連盟」）の一員として、世界各地で発生する紛争・災害で苦しむ人々に対する緊急救援や長期的な開発協力に取り組んでいます。

また、看護師等の国際救援・開発協力要員の養成を行うとともに、現地へ派遣しています。

(1) 国際救援

ア 海外救援金の受付

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
中東人道危機救援金	27	43,287
バングラデシュ南部避難民救援金	34	46,570
アフガニスタン人道危機救援金	45	201,507
ウクライナ人道危機救援金	790	44,922,744
2022 アフガニスタン地震救援金	17	113,362
2022 年パキスタン洪水救援金	18	135,820
トルコ・シリア地震救援金	111	16,374,797
地域無指定の救援金	6	148,303
NHK 海外たすけあい	1,772	1,542,631
合 計	2,820	63,529,021

(2) 開発協力

ア レバノン シリア難民等の水衛生管理支援事業

2011年にシリア紛争が始まって依頼、隣国のレバノンでは、現在でも150万人とも言われる難民が劣悪な環境での避難生活を余儀なくされています。難民に対して感染症リスクの軽減を図るため、水・衛生に関する啓発活動を行うとともに、水・衛生用品の配布を行うほか、ホストコミュニティや学校における水・衛生設備の設置などを支援しました。



子どもたち自ら衛生教育活動に参加



シリア難民への衛生物資配布

イ アジア・大洋州の給水・衛生災害対応キット整備事業

近年、洪水やサイクロンなどの自然災害が発生しているアジア・大洋州地域において、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。災害への緊急対応体制整備の一環として、給水・衛生災害対応キットの整備を進めるとともに、現地の赤十字社スタッフやボランティアなど資機材を活用する人員の育成を支援しました。



洪水災害対応で給水衛生キットを利用する
ラオス赤十字社



バングラデシュ赤新月社による
給水キットの取り扱い研修の様子

ウ 東アフリカ3カ国（ブルンジ、タンザニア、スーダン）の地域保健強化事業

東アフリカは、気候変動を原因とする洪水や干ばつ等の自然災害、内紛や政情不安による難民の発生、エボラ出血熱をはじめとする感染症など様々な問題を抱える地域です。東アフリカ地域の国々において、ラジオ放送やコミュニティ訪問を通じて、水・衛生、栄養、防災、感染症予防などの啓蒙活動を実施するとともに、3カ国における地域保健を強化する活動を支援しました。

3 赤十字奉仕団



(地域の子どもを対象に防災教育に取り組む奉仕団員)

人に寄り添い
支えあう

赤十字奉仕団は、赤十字が使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々によって結成された組織です。

県内 90 の赤十字奉仕団では、赤十字思想の普及や活動資金の募集、災害救護、救急法・水上安全法・健康生活支援講習等の普及、献血推進、社会福祉活動など、地域のニーズや事情に応じた幅広い活動を展開しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、奉仕団も様々な活動を制限されましたが、地区分区と連携しながら感染防止対策を講じ、防災訓練や防災教育研修会をはじめ、救急法の受講、NHK 海外たすけあいの街頭募金活動など、創意工夫して活動しました。

また、日本赤十字社長野県支部研修推進委員が講師として県内各地で開催した赤十字思想の講演や防災セミナーなどの体験型研修については、奉仕団員をはじめ、幅広い年齢層の地域住民、学校の教職員や児童が受講しました。

(1) 地域赤十字奉仕団の活動

「赤十字奉仕団の活動を通じて地域社会に貢献したい」という思いを持った人々によって、市町村(地区・分区)ごとに組織されている地域奉仕団では、地区分区と連携し、地域において、防災意識を高めるための防災研修会の開催や防災訓練への参加、公共施設の清掃や社会福祉施設での労力奉仕、赤十字活動資金の募集など多様な奉仕活動を実施しています。

また、事故や病気の予防に必要な知識と技術を習得するため、救急法講習や健康生活支援講習を積極的に受講しているほか、近年、頻発している災害への備えとして、「防災セミナー」も受講しています。

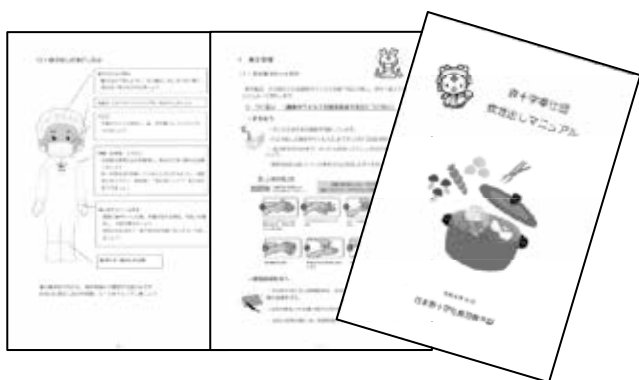
本社が主催する中央委員会（47 都道府県の委員長会議）及び近県8県からなる第3ブロック奉仕団委員長会議については、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年引き続き、Web形式で開催されました。

会議では、コロナ禍における奉仕活動や奉仕団の活性化について積極的に意見が交わされたほか、創意工夫して取り組んだ活動について、様々な事例が紹介されました。



第3ブロック奉仕団委員長会議（Web）

また、赤十字奉仕団長野県支部委員会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催となりましたが、地域赤十字奉仕団の幹部研修会については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、昨年引き続き、短時間かつ参加人数を抑えながら、県内6会場で開催し、長野県支部が取り組む防災教育事業の紹介のほか、日本赤十字社長野県支部研修推進委員から、安全な炊き出しのための衛生管理について、ご指導をいただきました。



幹部研修会（衛生管理についての指導）

地域に根差した活動をしている奉仕団員自らが災害に強いまちづくりの推進に資することを目的に、防災に関する知識や意識、技術を高め、地域の防災啓発活動を牽引できる人材を育成するための研修会を長野県支部で行いました。

地域において防災啓発活動の展開を考えている奉仕団員 59 人が参加し、「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を使用した子ども向けと大人向けの展開方法を学びました。



防災啓発研修会

防災・減災にかかる知識や技術の習得及び意識の啓発を図るため、日本赤十字社長野県支部研修推進委員による指導のもと、防災教育の企画・運営を行う防災教育アドバイザー17人を養成しました。

今後、各地域の研修推進委員とともに、地域における防災・減災研修会を開催していく予定としています。



防災教育アドバイザー養成研修会

(2) 青年赤十字奉仕団の活動

18歳からおおむね30歳までの学生や社会人で組織されている青年赤十字奉仕団と大学や専門学校などの学内で組織される学生赤十字奉仕団では、防災啓発活動や献血推進活動のほか、SNSを利用し、同世代に向けた赤十字思想の普及活動を進めています。



研修の一つとして、救急法短期講習を受講
(長野大学学生赤十字奉仕団)



第3ブロック青年赤十字奉仕団会議での
グループワーク (当支部)

(3) 特殊赤十字奉仕団の活動

救急法指導員、水上安全法指導員、柔道整復師などの有資格者等で組織されている特殊赤十字奉仕団では、災害時における救護活動の支援や平時の防災訓練への参加、救急法、水上安全法の企画・運営・指導、長野県赤十字歴史資料館や龍岡城五稜郭での案内、赤十字思想を普及するための紙芝居の制作、録音図書の作製など、各団の専門技術を活かした様々な活動に取り組んでいます。



第3ブロック支部救護訓練
(救護隊、柔道整復師奉仕団)



佐賀県 佐野常民記念館において紙芝居上演
(広報奉仕団)

<参考>

(1) 地域赤十字奉仕団活動状況

区 分	主な奉仕活動の内容	活動回数(回)	活動延人員(人)
災害救護に関する奉仕	被災者の救護及び避難等のための独自の活動	26	101
	関係機関の救護活動への協力	8	26
	災害時の炊き出し	3	60
	被災地の防疫及び復旧作業	2	5
	義援金品の募集と受付事務	209	1,843
	救援物資の整理・輸送・配分	6	9
	一品供出等による救護物資の備蓄	48	2,922
	防災訓練(炊き出し等)	222	2,630
	救急法・幼児安全法・防災啓発プログラム	130	1,962
	プール等における臨時救護	1	4
	その他	67	611
	小 計	722	10,173
保健衛生に関する奉仕	献血運動への協力	42	192
	不潔場所の浄化と消毒	204	1,115
	公共施設の清掃	681	6,767
	衛生思想の普及	26	1,058
	保健所等の関係機関による行事への協力	5	9
	巡回診療等の手伝い	13	51
	健康生活支援講習の普及	36	691
	その他	24	313
小 計	1031	10,196	
社会福祉に関する奉仕	にこにこ健康教室	9	105
	各種施設への労力奉仕等	96	875
	点訳及び視覚障害者への読書奉仕	52	52
	子供会臨時保育所等による地域の一般児童保護	27	81
	敬老会等での老人福祉	98	1,190
	要保護世帯への援助	106	167
	関係機関による各種行事への協力	232	1,498
	配食サービス	29	307
	その他	119	1,016
小 計	768	5,291	
赤十字思想普及奉仕	赤十字思想の普及(広報活動を含む)	80	1,342
	支援者募集及び活動資金収納	589	9,087
	日赤支部地区分区の事務奉仕	113	274
	日赤主催行事への援助	328	271
	地方自治体や関係団体等による行事への協力	604	1,116
	奉仕団運営のために必要な事務奉仕	530	3,763
	その他	89	1,462
	小 計	2,333	17,315
合 計	4,854	42,975	
前年度	4,274	38,189	

(2) 各奉仕団の事業実施状況

ア 地域赤十字奉仕団

内 容	実施日	場所等
赤十字奉仕団長野県支部委員会常任委員会	令和4年4月22日	長野県支部
	7月27日	
	令和5年2月21日	
赤十字奉仕団長野県支部委員会	令和4年4月22日	文書審議
地域赤十字奉仕団研修推進委員会	令和4年4月22日	長野県支部
	6月8日	
	7月27日	
	8月19日	
	令和5年3月3日	
赤十字奉仕団中央委員会	令和4年5月30日	本社
	5月31日	
地域赤十字奉仕団幹部研修会	令和4年6月22日	茅野市
	6月23日	駒ヶ根市
	6月28日	長野県支部
	6月29日	松本市
	7月1日	松川町
	7月6日	佐久市
第3ブロック赤十字奉仕団委員長会議	令和4年9月13日	Web形式

イ 青年赤十字奉仕団

内 容	実施日	場所等
ウクライナ人道危機救援金募金活動 赤十字運動月間呼びかけ 防災啓発活動 献血推進活動 リーダーシップ・トレーニングセンター（スタッフ参加） 地域活動への参加（諏訪湖上清掃ほか） 入院患者へのメッセージカード等の作成	通 年	県内各地

ウ 特殊赤十字奉仕団

(ア) 救護隊

内 容	実施日	場所等
善光寺御開帳臨時救護	令和4年4月～6月	長野市
第52回長野びんずる臨時救護	8月6日	長野市
諏訪湖マラソン大会臨時救護	10月23日	諏訪市
日本赤十字社第3ブロック支部 合同災害救護訓練	11月3日	諏訪市
綿半との共催イベント	令和5年3月11日	上田市
救急法基礎講習会	令和4年6月12日	長野市
	9月17日	佐久市
	11月5日	上田市
	11月26日	塩尻市
	11月27日	富士見町
	12月3日	南箕輪村
	令和5年2月5日	長野市

(イ) 水上安全奉仕団

内 容	実施日	場所等
善光寺平学童安全水泳大会運営スタッフ	令和4年9月4日	長野市

(ウ) 安全奉仕団

内 容	実施日	場所等
救急法研修会	令和4年5月22日	松本市
	7月31日	
	12月4日	
救急法基礎講習会	令和4年6月25日	松本市

(エ) 大町市救急員会

内 容	実施日	場所等
第39回大町アルプスマラソン臨時救護	令和4年10月16日	大町市

(オ) 青少年赤十字賛助奉仕団

内 容	実施日	場所等
第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会	令和4年 6月21日 6月22日	静岡県
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	令和4年 7月14日 7月15日	本社
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会役員会	令和5年 3月13日 3月14日	本社
青少年赤十字指導者協議会への協力 加盟校登録式への講師派遣 賛助奉仕団報発行	通 年	県内各地

(カ) 柔道整復師会奉仕団

内 容	実施日	場所等
善光寺御開帳臨時救護	令和4年 4月～6月	長野市
第52回長野びんずる臨時救護	令和4年 8月6日	長野市
日本赤十字社第3ブロック支部 合同災害救護訓練	令和4年 11月3日	諏訪市

(キ) 広報奉仕団

内 容	実施日	場所等
歴史資料館の案内、案内ボランティア勉強会、 清掃奉仕 (長野県赤十字歴史資料館案内ボランティア班)	通 年	長野県赤十字 歴史資料館
紙芝居の作成・上演・DVD化、絵本の贈呈、 清掃奉仕 (飯田市赤十字奉仕団上郷分団紙芝居班)		飯田市 ほか
五稜郭であいの館の案内、清掃奉仕 (龍岡城五稜郭保存会案内ボランティア班)		佐久市 ほか

(ク) 音訳奉仕団

内 容	実施日	場所等
自主講習会	令和4年 6月23日	松本市
音訳者のための著作権セミナー	8月2日	松本市
音ボラセミナー	10月20日	松本市
音訳ボランティアのためのオンライン研修会	12月2日	松本市

4 青少年赤十字



生きる力を
育む

(青少年赤十字メンバーによる「2023年トルコ・シリア地震救援金」募金活動)

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と、主体性を育むための「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、長野県教育委員会をはじめ、教職員のご理解とご協力を得ながら、各学校の中で展開しています。

小・中・高等学校及び特別支援学校を合わせた209の加盟校においては、校内をはじめ、地域の人々との関わりや心のふれあいを大切にしながら、人権問題や防災・減災への取り組みなど、幅広い分野で活動しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ始めたことから、多くの学校でボランティア活動が徐々に再開され、青少年赤十字メンバーである児童・生徒たちは、身近な地域から世界まで、広い視野で人や社会のためにできることを考え、活動に取り組みました。



公開授業を実施し、人権学習の研究成果を発表
(飯田市立山本小学校)



活動の一環で、パラスポーツ体験
(松本市立鎌田中学校)

(1) 加盟状況

区 分		小学校	中学校	高等学校	盲・養学校	合 計
加盟校数 (校)	令和4年度	67	71	69	2	209
	(前年度)	(66)	(68)	(68)	(2)	(204)
メンバー数 (人)	令和4年度	19,955	21,110	2,324	50	43,439
	(前年度)	(19,801)	(19,622)	(1,801)	(50)	(41,274)

※ 令和4年度 新規加盟校 (6校)

〔 長野市立山王小学校、大町市立大町西小学校、信州大学教育学部附属松本中学校、
青木村立青木中学校、栄村立栄中学校、長野県東御清翔高等学校 〕

(2) 研究推進校の設置

長野県教育委員会と協議し、青少年赤十字加盟校の中から小・中学校2校を研究推進校に指定しました。

指定年度	学校名	研究内容
令和3・4年度	飯田市立山本小学校	相手意識に立った 思いやりの心を育む学習のあり方
令和4・5年度	松本市立鎌田中学校	多様な生徒に多様な学びの場を保障する学校 ～生徒に学びを委ねる授業づくり (授業のユニバーサルデザイン化)～

(3) リーダーシップ・トレーニングセンターの開催

青少年赤十字メンバー(児童・生徒)のリーダーシップ養成を目的とした「リーダーシップ・トレーニングセンター」については、高等学校の部を開催しました。参加生徒は、赤十字思想に触れながら、自主・自律の心を養いました。

なお、小・中学校の部は、新型コロナウイルス感染症を考慮して開催を中止しました。

区 分	開催日	開催場所	参加校数	参加児童 ・生徒数
小学校	開催中止			
中学校	開催中止			
高等学校	令和4年10月16日	日本赤十字社長野県支部	6校	27人
合 計			6校	27人

(4) 主な事業実施状況

内 容	実施日	場所等
青少年赤十字指導者協議会総会	令和4年 5月 28日	長野県支部
第3ブロック青少年赤十字指導者協議会 会長研究会	6月 17日	Web形式
青少年赤十字全国指導者協議会総会・ 研修会	6月 29日	Web形式
青少年赤十字リーダーシップ・トレー ニングセンター（高等学校の部）	10月 16日	長野県支部
青少年赤十字研究推進校発表会	10月 20日	飯田市立 山本小学校
青少年赤十字指導者協議会役員会	11月 28日	長野県支部
青少年赤十字指導者協議会研修会	令和5年 2月 19日	長野県支部
青少年赤十字スタディー・プログラム	3月 21日、25日	本社 (Web・参集)

5 救急法などの講習



(保育園における幼児安全法講習)

今、あなたに
できることがある

とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行うため、地区分区やボランティア等のご協力のもと、県内各地で各種赤十字講習を実施しています。

令和4年度は、感染対策のために中止していた支部主催講習を一部再開し、企業や団体に属さない個人での受講を進めたほか、県内すべての中学2年生に一次救命処置（BLS）の方法をデザインしたクリアファイルを配布し、学校現場における講習普及に努めました。



救急法

事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショック、止血の仕方、災害時の心得等の知識と技術を習得できます。



水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。



幼児安全法

乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。



健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け、役立つ介護技術を習得できます。

(1) コロナ禍における赤十字講習の対応

令和3年度に策定した「新型コロナウイルス感染症に伴う赤十字講習実施要件」に基づき、引き続き本社方針及び県内の感染状況や社会情勢等を踏まえ、講習を実施しました。

(2) 各種講習会の開催状況

講習区分		資格者の養成			短期講習		計	
		実施(回)	受講者数(人)	養成者数(人)	実施(回)	受講者数(人)	実施(回)	受講者数(人)
救急法	基礎講習	48	1,050	1,041	342	7,743	415	9,286
	救急員養成	25	493	490				
水上安全法	I	0	0	0	0	0	0	0
	II	0	0	0				
健康生活支援講習		1	6	6	23	716	24	722
うち 災害時高齢者生活支援		—	—	—	22	686	—	—
幼児安全法		1	13	13	37	622	38	635
合計		75	1,562	1,550	402	9,081	477	10,643

(3) 支部主催による各種講習会

講習区分		開催日	開催地	受講者数(人)
救急法	基礎講習	令和4年4月9日	大町市	※
		5月7日	上田市	
		5月29日	松川町	
		6月12日	長野市	19
		6月25日	松本市	18
		9月17日	佐久市	7
		11月5日	木曾町	※
		11月5日	上田市	12
		11月26日	塩尻市	14
		11月27日	富士見町	14
	12月3日	南箕輪町	4	
	令和5年2月5日	長野市	20	
	救急員養成講習	令和4年4月16日、17日	大町市	※
		5月14日、15日	上田市	
6月4日、5日		松川町		
6月8日、9日		長野市		

※新型コロナウイルス感染症を考慮して、開催中止

講習区分		開催日	開催地	受講者数(人)
救急法	救急員養成講習	7月2日、9日	松本市	※
		9月24日、25日	佐久市	
		11月12日、13日	上田市	
		11月19日、20日	木曾町	
		11月27日、12月4日	塩尻市	
		12月3日、4日	富士見町	
		12月10日、11日	南箕輪町	
		令和5年2月11日、12日	長野市	
健康生活 支援講習	支援員養成講習	令和4年9月12日、13日	諏訪市	※
		10月1日、2日	飯山市	
		11月5日、6日	安曇野市	
	短期講習	令和4年6月23日	諏訪市	
		7月9日	安曇野市	
		7月14日	松川町	
		9月30日	飯山市	
幼児安全法	支援員養成講習	令和4年6月8日、9日	諏訪市	
		10月8日、9日	安曇野市	
		令和5年1月28日、29日	長野市	
	短期講習	令和4年6月9日	諏訪市	
		6月11日	安曇野市	
		6月11日	飯山市	
		7月27日	長野市	
		9月8日	松川町	

※新型コロナウイルス感染症を考慮して、開催中止

(4) 若年層（児童・生徒）に対する救急法講習の推進

長野県教育委員会の協力のもと、県内の小・中・高等学校において、救急法の受講を通じて、他者への思いやりやいのちの大切さを学ぶことができる「児童・生徒のためのBLS短時間プログラム」を実施しました。

また、赤十字思想の普及・啓発を図るため、保健体育のカリキュラムに応急手当が含まれている県内すべての中学2年生を対象に、一次救命処置（BLS）の方法をデザインしたクリアファイルを配布しました。



(5) 幼児安全法講習指導員の養成

幼児安全法指導員養成講習会を開催し、新たに12人の指導員を養成しました。

開催日	開催地	合格者(人)
令和4年5月10日、11日、17日、18日、19日	長野市	12

(6) 各種講習指導員研修会の開催

講習普及の推進と講習指導員の知識・技術の確認を目的に、県内各地で開催しました。

	開催日	開催地	受講者(人)
救急法	令和5年3月7日	長野市	40
	10日	佐久市	10
	12日	長野市	29
	18日	安曇野市	41
	19日	松川町	29
健康生活支援講習	3月10日	長野市	32
	11日	諏訪市	21
幼児安全法	3月10日	長野市	32
	11日	諏訪市	25

(7) 救急法指導員資格継続適性審査

資格継続が3回目に達する救急法指導員を対象に、実施しました。

実施日	開催地	合格者(人)
令和5年3月7日	日本赤十字社長野県支部	14
12日	日本赤十字社長野県支部	5
18日	安曇野赤十字病院	15
19日	下伊那赤十字病院	13

6 日赤活動資金の募集



救
う
を

託
さ
れ
て
い
る

(青少年赤十字加盟校から寄付の贈呈)

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ための赤十字活動は、県民の皆さまからご支援いただく活動資金が財源であり、地区分区をはじめ、自治会や奉仕団のご理解とご協力を得ながら募集しています。募集に際しては、赤十字活動をご理解いただくことが重要であるため、活動内容を説明する広報紙を作製して全戸に配布するとともに、戸別訪問を基本としつつ、利便性の高い口座振替やクレジットカード決済の利用、さらには遺贈・相続財産の寄付など、様々な方法を取り入れています。

また、法人・団体の皆さまには、ダイレクトメールを送付して活動資金へのご協力を依頼し、「赤十字支援マーク」の活用を呼びかけるとともに、パートナーシップ協定の締結などの取組を進めるなど、各種の連携強化に努めました。

その他にも、昨年度に続き、継続的な支援者の確保及び赤十字活動への理解の促進とご協力への感謝を伝えるために、「活動資金御礼・報告チラシ」を作製し、地区分区を通じて、県民の皆さまへ配布しました。支援者（会員・協力会員等）は、総数 260,906 人、活動資金は総額 504,195,024 円となりました。

(1) 支援者（会員・協力会員等）の状況

種 別	令和4年度末	令和3年度末	増・減
個人(人)	255,783	262,309	△6,526
法人(社・団体)	5,123	5,320	△197
合 計	260,906	267,629	△6,723

(2) 日赤活動資金の募集実績

区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額内訳 (円)			前年度実績額 (円)
				市町村受付	口座振替	クレジットカード	
長野市	57,190	47,108,527	82.4	45,384,527	1,290,000	434,000	48,252,325
松本市	38,115	24,791,085	65.0	23,687,813	464,000	639,272	25,763,969
上田市	22,790	12,632,932	55.4	12,274,932	99,000	259,000	13,025,509
岡谷市	6,988	6,145,298	87.9	6,070,298	7,000	68,000	6,111,974
飯田市	14,044	14,807,304	105.4	14,708,304	72,000	27,000	16,057,855
諏訪市	7,715	7,578,515	98.2	7,144,515	156,000	278,000	7,760,182
須坂市	6,928	6,034,473	87.1	5,479,473	56,000	499,000	5,855,455
小諸市	6,016	5,735,165	95.3	5,511,165	224,000	-	5,862,100
伊那市	9,951	7,950,774	79.9	7,809,774	75,000	66,000	8,348,474
駒ヶ根市	4,794	3,850,550	80.3	3,825,550	5,000	20,000	3,830,008
中野市	5,608	5,864,528	104.6	5,680,528	55,000	129,000	5,866,835
大町市	3,815	3,505,080	91.9	3,287,080	108,000	110,000	3,669,050
飯山市	2,535	1,907,144	75.2	1,907,144	-	-	1,999,362
茅野市	8,278	5,320,943	64.3	5,123,943	155,000	42,000	5,255,146
塩尻市	9,918	7,506,323	75.7	6,405,323	904,000	197,000	7,712,347
佐久市	14,163	11,658,547	82.3	11,155,547	393,000	110,000	11,650,883
千曲市	7,856	11,086,046	141.1	11,010,046	31,000	45,000	11,753,087
東御市	3,947	4,018,950	101.8	3,962,950	36,000	20,000	4,108,067
安曇野市	13,116	12,975,859	98.9	12,729,859	107,000	139,000	13,423,950
小海町	620	1,445,365	233.1	1,385,365	-	60,000	1,466,200
佐久穂町	1,322	1,504,300	113.8	1,504,300	-	-	1,551,900
川上村	487	530,100	108.9	530,100	-	-	554,800
南牧村	398	334,000	83.9	334,000	-	-	365,000
南相木村	141	372,000	263.8	372,000	-	-	379,500
北相木村	102	164,023	160.8	164,023	-	-	160,457
軽井沢町	3,648	2,620,483	71.8	2,514,483	24,000	82,000	8,678,590
御代田町	2,417	2,773,800	114.8	2,737,800	36,000	-	2,703,750
立科町	910	1,251,200	137.5	1,251,200	-	-	1,323,000
長和町	765	1,292,200	168.9	1,251,200	5,000	36,000	1,306,700
青木村	513	681,167	132.8	681,167	-	-	723,916
下諏訪町	2,760	2,668,896	96.7	2,663,896	5,000	-	3,008,641
富士見町	1,955	2,016,773	103.2	1,930,773	74,000	12,000	2,012,980

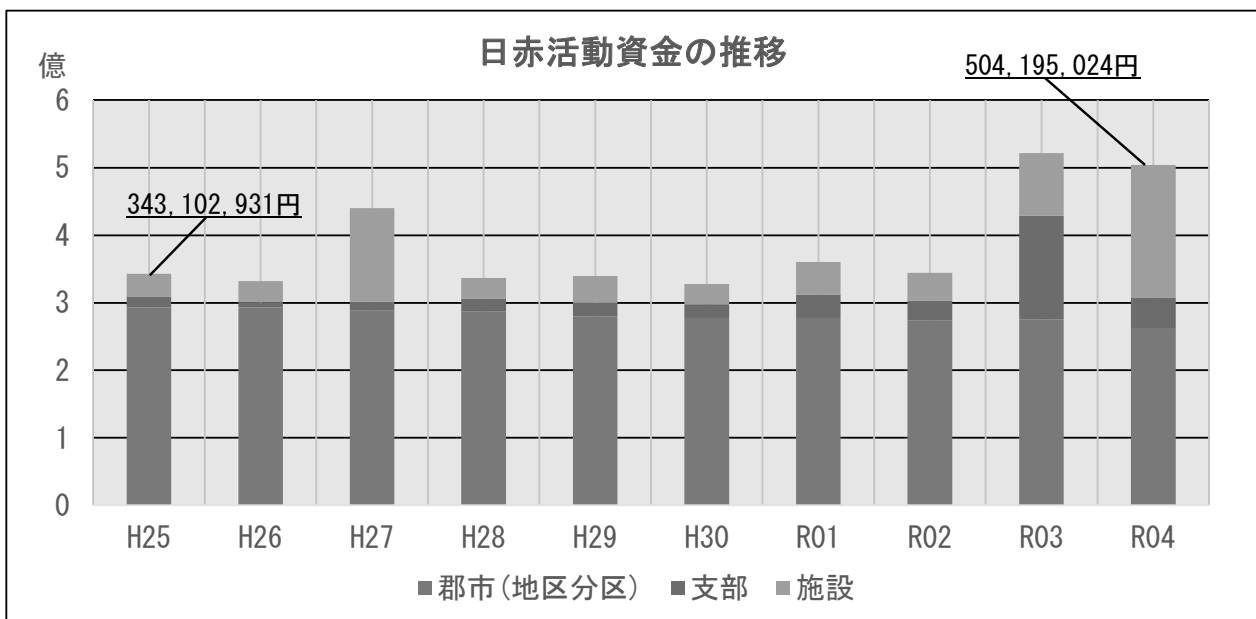
令和4年度 事業報告 | 日赤活動資金の募集

区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額内訳 (円)			前年度実績額 (円)
				市町村受付	口座振替	クレジットカード [※]	
原村	1,076	884,800	82.2	817,800	-	67,000	900,495
辰野町	2,685	2,684,894	100.0	2,622,894	-	62,000	2,713,871
箕輪町	3,681	3,500,100	95.1	3,400,100	50,000	50,000	3,463,900
飯島町	1,221	2,297,411	188.2	2,204,411	-	93,000	2,414,600
南箕輪村	2,387	1,694,283	71.0	1,649,283	2,000	43,000	1,727,200
中川村	586	704,001	120.1	704,001	-	-	709,500
宮田村	1,230	1,473,400	119.8	1,456,400	-	17,000	1,536,800
松川町	1,574	1,571,000	99.8	1,542,000	5,000	24,000	1,609,500
高森町	1,562	1,018,094	65.2	1,018,094	-	-	1,092,011
阿南町	485	597,752	123.2	597,752	-	-	580,200
阿智村	734	759,635	103.5	742,635	-	17,000	778,500
平谷村	62	53,000	85.5	53,000	-	-	54,000
根羽村	124	156,000	125.8	156,000	-	-	161,022
下條村	396	622,000	157.1	622,000	-	-	640,800
売木村	77	151,220	196.4	151,220	-	-	156,500
天龍村	176	325,000	184.7	325,000	-	-	356,000
泰阜村	203	271,500	133.7	271,500	-	-	271,500
喬木村	686	788,000	114.9	788,000	-	-	792,000
豊丘村	763	515,439	67.6	515,439	-	-	558,164
大鹿村	149	208,700	140.1	208,700	-	-	209,700
上松町	608	1,184,576	194.8	1,184,576	-	-	1,313,629
南木曾町	533	758,500	142.3	758,500	-	-	769,500
木曾町	1,642	1,821,959	111.0	1,711,959	110,000	-	2,054,653
木祖村	348	399,400	114.8	399,400	-	-	388,900
王滝村	120	272,186	226.8	272,186	-	-	283,060
大桑村	511	622,980	121.9	622,980	-	-	618,957
麻績村	320	330,150	103.2	330,150	-	-	331,450
生坂村	216	324,000	150.0	324,000	-	-	341,059
山形村	1,101	1,294,000	117.5	1,291,000	-	3,000	1,334,412
朝日村	519	582,396	112.2	578,396	4,000	-	583,350
筑北村	551	777,100	141.0	777,100	-	-	784,060
池田町	1,229	1,495,050	121.6	1,319,050	24,000	152,000	1,569,980
松川村	1,234	1,265,600	102.6	1,241,600	-	24,000	1,259,850

令和4年度 事業報告 | 日赤活動資金の募集

区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額内訳 (円)			前年度実績額 (円)
				市町村受付	口座振替	クレジットカード	
白馬村	1,231	984,000	79.9	966,000	2,000	16,000	1,019,400
小谷村	382	598,010	156.5	598,010	-	-	639,000
坂城町	2,336	2,967,270	127.0	2,883,270	60,000	24,000	2,961,225
小布施町	1,315	698,950	53.2	608,950	90,000	-	719,388
高山村	857	723,000	84.4	723,000	-	-	752,500
山ノ内町	1,464	1,594,521	108.9	1,558,521	36,000	-	1,618,702
木島平村	525	434,149	82.7	434,149	-	-	430,942
野沢温泉村	400	380,121	95.0	380,121	-	-	391,909
栄村	223	321,000	143.9	291,000	-	30,000	301,000
信濃町	1,040	1,135,775	109.2	1,135,775	-	-	1,101,400
飯綱町	1,314	1,517,222	115.5	1,510,222	7,000	-	1,630,385
小川村	319	323,905	101.5	323,905	-	-	435,570
市 計	243,767	200,478,043	82.2	193,158,771	4,237,000	3,082,272	206,306,578
町村計	56,233	60,736,356	108.0	59,390,356	534,000	812,000	68,595,978
市町村計	300,000	261,214,399	87.1	252,549,127	4,771,000	3,894,272	274,902,556
支部扱		39,510,508		-	-	-	153,936,657
指定事業海外救援金		6,918,619		-	-	-	40,000
小 計(①)		307,643,526		252,549,127	4,771,000	3,894,272	428,879,213

施設扱計(②)	-	196,551,498		-	-	-	92,711,632
合 計(①+②)	-	504,195,024		-	-	-	521,590,845



(3) 法人・団体との連携

発生が懸念される大規模災害に備え、救護体制の一層の強化を図るとともに、救護資機材や救援物資の整備を推進するため、法人・団体の皆さまにダイレクトメールを送付し、赤十字活動資金へのご協力をお願いしました。

その結果、142社 から 14,835,316 円のご協力をいただき、備蓄用の毛布や災害救護車両などを整備しました。

また、長野マラソン大会組織委員会とのパートナーシップ協定に基づき、社会貢献活動に協力する体制を継続しているほか、覚書を締結した企業には、「赤十字支援マーク」をご活用いただいています。



備蓄用毛布



長野マラソンチャリティランナー



地区に整備した災害救護車両

(4) 口座振替・クレジットカード決済・遺贈等による活動資金の募集

戸別訪問による募集に加え、口座振替やホームページからお申込みいただけるクレジットカード決済を利用した募集のほか、金融機関や公認会計士協会等と協力し、遺贈や相続財産による寄付金も受け付けています。

また、遺贈・相続財産寄付については、期間を限定した WEB 広告や特設ページを開設しました。



「遺贈」遺言による寄付の特設ホームページ



遺贈寄付・相続財産のパンフレット

(5) 表彰

日赤活動資金へのご協力や赤十字事業の進展に尽くされた方を表彰いたしました。

表彰区分		表彰基準		個人 (人)	法人 (社・団体)	合計	
活動資金	紺綬褒章	500万円以上（個人）		6	1	7	
		1,000万円以上（法人）					
	厚生労働大臣感謝状	100万円以上 500万円未満（個人）		4	1	5	
		300万円以上 1,000万円未満（法人）					
	社資功労感謝状		金色有功章受章後 50万円以上		9	16	25
	有功章	金色	50万円以上		12	19	31
		銀色	20万円以上		10	22	32
小 計				41	59	100	
役 職	有功章	金色	在職年数 6年以上 ほか	0	0	0	
		銀色	在職年数 3年以上 ほか	0	0	0	
	小 計				0	0	0
協賛委員	有功章	金色	在職年数 10年以上	0	0	0	
		銀色	在職年数 5年以上	0	0	0	
	小 計				0	0	0
奉仕団員等 奉仕者	業務功労感謝状		金色有功章受章後 活動年数 10年以上	0	0	0	
	有功章	金色	活動年数 20年以上	7	0	7	
		銀色	活動年数 15年以上	3	0	3	
	小 計				10	0	10
献 血 者	厚生労働大臣表彰状		活動年数 30年以上（個人） 活動年数 20年以上（団体） 成分献血、400ml 献血の推進	0	2	2	
	厚生労働大臣感謝状		活動年数 20年以上（個人） 活動年数 10年以上（団体）	0	8	8	
	県献血推進協議会長表彰		献血思想の普及等が顕著な 個人・団体	0	12	12	
	有功章	金色	献血回数 100回以上		143	0	143
		銀色	献血回数 70回以上		202	0	202
	小 計				345	22	367
合 計				396	81	477	

(6) 地区区分事務担当者会議等の開催

支部と地区区分の円滑な意思疎通と連携を強化するとともに、支部と地区区分が協力して活動資金の確保に取り組むため、地域の実情や課題を共有する地区区分担当者会議等を開催しました。

区 分	開催日	会 場	参加人数
地区区分 事務担当者会議 (上期)	令和4年 8月 24日	長野県支部	66
	26日	佐久市臼田総合福祉センター	
	29日	伊那市防災コミュニティセンター	
	9月 1日	塩尻市保健福祉センター	
	2日	南信消費生活センター	
地区区分 事務担当課長会議	令和4年 12月 15日	長野県支部	35
地区区分 事務担当者会議 (下期)	令和5年 2月 20日	長野県支部	74
	22日	塩尻市総合文化センター	
	3月 1日	佐久穂町生涯学習館	
	2日	伊那市福祉まちづくりセンター	
	3日	飯田合同庁舎	

(7) 長野県赤十字有功会

ア 総会の開催

5月25日、ホテル国際21において、長野県赤十字有功会総会を開催しました。

昨年度、一昨年度と、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、書面による開催を余儀なくされましたが、今年度は、議事後の講演会を割愛するなどの感染防止対策を講じたうえで、3年ぶりに一堂に会して開催することができました。

総会では、石井和男会長の挨拶の後、関 昇一郎副支部長（長野県副知事）から多額のご寄付をされた方々に対し、有功章等の表彰を伝達しました。



石井会長の挨拶

イ 研修旅行

会員の研修と相互の親睦・交流を兼ねて、石井会長をはじめ有功会員及び会員関係者など総勢10名が、11月6日から8日にかけて、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県と福島県の震災遺構を巡る視察・研修を行いました。



旧防災庁舎にて語り部から説明を受ける参加者



長野県赤十字有功会

日本赤十字社に対し、多額の寄付をされた「有功章受章者」の有志により、平成6年3月に設立された、赤十字事業の伸展に協力する支援団体です。

会員数：個人 118人 法人 73社

(令和5年3月31日現在)

(8) 赤十字思想の普及

赤十字事業へのご協力と活動資金の確保には、赤十字への理解を深めていただくことが必要であることから、5月の赤十字運動強化月間に合わせ、赤十字活動の広報を重点的に行っています。令和4年度は、5月～8月を広報強化期間とし、テレビCMの放映、テレビ番組への出演及び新聞広告の掲載等のマスコミを活用した広報活動を展開しました。

ア 赤十字広報強化期間（5月～8月）

さまざまな広報媒体を活用し、次のとおり集中的な広報活動に取り組みました。

(ア) テレビCMの放映（「危機を前に、人は弱い。」（本社制作 ※30秒素材のみ））

放送実績：84回（5月1日～5月31日）

放送局：テレビ信州（TSB）、長野朝日放送（ABN）、信越放送（SBC）、長野放送（NBS）



① ♪～（ピアノ単音）
危機を前に、人は弱い。



② あの時、僕は不安で何も出来なかった。



③ そんな時、先輩はすごいなって。



④ 高橋くん？
私もちょっと前までは泣いてただけだね。



⑤ でも、あの時。
「大丈夫、ひとりじゃないから。」って。



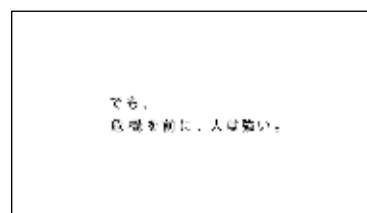
⑥ あれ、強がり。



⑦ ♪～



⑧ ♪～



⑨ でも、危機を前に、人は強い。



⑩ 救いを託されている。



⑪ あなたとともに。



⑫ 日本赤十字社。

(イ) ラジオ CM の放送 (「ボランティアの想い」 (当支部制作))

放送実績 : 365 回 (通年)

放送局 : FM 長野、SBC ラジオ

(ウ) テレビ・ラジオ番組への出演

放送局	番組名	放送時間
FM長野	MAGIC HOUR	令和5年3月15日(金) 17:28~
	MAGIC HOUR	3月20日(木) 10:40~

(エ) 新聞広告の掲載 (信濃毎日新聞)

広告名	掲載回数
シリーズ広告	5 回 (5・6・7・8・9月)
イメージ広告	3 回 (1・2・3月)
テレビ解説中広告	3 回 (1・2・3月)



(オ) 県内雑誌広告の掲載 (長野 Komachi 9月号)



イ 赤十字施設におけるイベント

県内赤十字施設では、5月8日（世界赤十字デー）や5月12日（看護の日）を中心にイベントを開催し、広く一般の方々に赤十字事業へのご理解とご協力を求めるとともに、地域住民との交流や健康に役立つ各種講座を実施しています。

施設名	イベント名	実施日	内 容
長野赤十字病院	赤十字週間	令和4年 5月9日 ～13日	赤十字活動 PR のための院内デジタルサイネージを用いた展示、院長・看護部長・事務部長による赤十字活動の紹介、ライトアップ
	がんと向きあう週間	10月24日 ～28日	ライトアップ、院長による院内放送、がん相談支援センター活動の報告
	一日看護師体験	8月4日	リモートイベント
	クリスマス関連	12月1日 ～24日	イルミネーション設置、小児病棟でのクリスマスカード配布
	病院祭・看文祭代替事業	12月～	院内の各部署の紹介を展示（院内デジタルサイネージ、壁面掲示、ホームページを用いて掲載）
	がん治療センター オンライン市民公開講座	令和5年 1月～	YouTube によるがん情報の発信（5大がんおよび当院でがん登録の多い診療科等（①肺がん②悪性リンパ腫③肝がん④婦人科⑤がん相談⑥乳がん））
	世界緑内障週間	3月13日 ～17日	建物をグリーンライトアップ
諏訪赤十字病院	高校生職場体験	令和4年 8月2日	中南信地区、一部山梨県の高校生対象の職場体験（Zoomによるオンライン開催）
	一日看護師体験	8月5日	将来看護職を目指す学生を対象に、職場紹介や看護体験の発表、ディスカッションを実施（Zoomによるオンライン開催）
	第16回市民公開がん講演会	8月20日	「今、知っておきたい乳がんのこと」「がんと共に生きるということ」「治療と仕事の両立支援について」（ケーブルテレビ放映、YouTube 動画掲載）

施設名	イベント名	実施日	内 容
諏訪赤十字病院	ホスピス緩和ケア週間 2022	10月6日	除菌ウェットティッシュ配布、緩和ケアセンターリーフレット配布、講演会の映像放映(当該期間(10/3～10/7)内は、エントランスに冊子・パンフレットを常設)
	登録医との集い	11月2日	当院医師と登録医との交流会
	市民公開講演会	11月26日～29日	「周産期医療～安心して妊娠・出産・子育てをするために～」ケーブルテレビ放映、YouTube 動画掲載)
	世界糖尿病デー	11月14日	ポスター掲示、スライドの掲示、クロスカフェでの適正カロリーメニューの提供、ブルーライトアップ
	創立100周年記念式典・レセプション	1月28日	院長挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈、看護学生キャンドルサービス、特別講演会など
	「ACTION! 防災・減災」啓発イベント	令和5年3月1日～31日	企画のポスター展示、プラズマディスプレイによる周知
	LCV 日赤健康チャンネル	通 年	ケーブルテレビ (LCV) にて医療・健康情報の発信 (毎月)
安曇野赤十字病院	世界赤十字デーレッドライトアップ	令和4年5月1日	病院立看板のレッドライトアップ
	看護の日	5月12日～18日	院長からの花を展示
	七夕関連	7月7日 8月1日～31日	入院患者さんへ七夕献立を提供したほか、入院患者さん用の笹竹と短冊を各病棟に飾りつけ
	1日看護師体験	8月9日	高校生を対象とした看護師体験の実施
	糖尿病啓発キャンペーン	11月14日	世界糖尿病デーに合わせて看板のブルーライトアップ
	クリスマスイベント	12月1日～25日	病棟にクリスマスツリーを設置、病棟にて(スタッフ家族による)バイオリン演奏を開催

施設名	イベント名	実施日	内 容
安曇野赤十字病院	ビデオ放映	通 年	救急外来と外来待合にて、健康講座のビデオを放映
	りんどう会レター	年数回	りんどう会(糖尿病患者さん向け)にて、手作り冊子の配布
	街路樹イルミネーション	令和4年 11月26日 令和5年 ～3月31日	地域を明るくすることを目的に、市民や企業と協力して街路樹を装飾
飯山赤十字病院	赤十字運動月間キャンペーン	令和4年 5月1日 ～31日	赤十字に関するパンフレットの配布等
	公開講座	5月4日 ～31日	「膵癌を知ろう！」をテーマに医師による講演をケーブルテレビやYouTubeにて放映
	高校生一日看護体験	8月2日	赤十字の紹介や高校生と看護職員の交流会をオンラインにて開催
	公開講座	9月1日 ～30日	「薬剤部について」をテーマに薬剤部の紹介をケーブルテレビやYouTubeにて放映
	医療安全週間	11月7日 ～18日	医療安全週間を設け、川柳を募集
	震災復興・防災イベント	令和5年 3月1日 ～31日	ポスター展示
	出前講座	通 年	地域の予防医学に関する各種講演
下伊那赤十字病院	赤十字月間	令和4年 5月1日 ～31日	パネル展示
	ラベンダー花摘みポプリ作り	7月4日	感染対策の上、地域赤十字奉仕団によるラベンダー花摘み・ポプリ作りを実施
	「ACTION! 防災・減災」啓発活動	令和5年 3月1日 ～31日	ポスター等を掲示
	出前講座	通 年	医療講演、認定看護師等による講演(開催回数を減らして実施)

施設名	イベント名	実施日	内 容
川西赤十字病院	1日看護師体験 (説明会)	令和4年 8月4日 8月8日 8月10日	高校生による1日看護師体験 コロナにより病院開催を中止したため、看護部長が2高校に出向き、1高校はZoomにて説明会を実施
	出前講座・訪問支援	通年 (複数回)	看護部長、認定看護師が施設等へ訪問して講演・指導
	赤十字月間	5月から通年	大給恒はじめ赤十字に由来する方、五稜郭のポスターを廊下に展示
長野県赤十字 血液センター	学生クリスマスキャンペーン	令和4年 12月3日 4日	学生ボランティアと街頭にて献血協力及び献血PR
	献血体験キャンペーン	令和5年 1月7日 ～10日 3月4日 3月5日 3月11日 3月12日	献血ルームから遠方の地域において献血を体験していただくため実施
松本赤十字乳児院	ひまわり交流会	4回開催	里親同士の交流や里親登録者の育児学習

ウ 各種広報資材の配布

赤十字広報強化月間に集中的な広報を行うため、地区分区のご協力により「全戸配布チラシ」の配布や「赤十字運動用ポスター」の掲示に努めました。

また、令和3年度に作成している「活動資金御礼・報告チラシ」をご協力いただいた皆さま等へ配布しました。

資材名	配布数(部)
全戸配布チラシ	760,000
赤十字運動用ポスター	3,200
リーフレット	13,500
活動資金御礼・報告チラシ	70,000



全戸配布チラシ



活動資金御礼・報告チラシ

(9) 長野県支部ホームページ

より多くの方々に赤十字をご理解いただくため、ホームページを活用しました。

なお、主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ 赤十字事業の紹介
- ・ 救急法等講習会の情報
- ・ 講習会指導員向け情報
- ・ 地区分区事務局向け情報
- ・ 青少年赤十字指導者向け情報
- ・ 義援金、救援金の募集情報
- ・ 赤十字イベントの紹介



長野県支部ホームページ

(10) 長野県赤十字歴史資料館

長野県赤十字歴史資料館には、県内外から多くの方々にご来館いただいています。

平成20年4月の開館以来、令和5年3月31日までの来館者は、9,787人を数えています。



長野県赤十字歴史資料館



長野県赤十字歴史資料館

「旧支部事務所」(明治32(1889)年建設)の大部分は、老朽化により平成19(2007)年に取り壊すこととなりましたが、赤十字の礎を築いた「救護看護婦」を戦地へと送り出した「正面玄関」と「支部長室」を改修・保存し、解体した建物の屋根瓦・ガラス窓等を再利用して、建設当時の姿を出来る限り復元しました。貴重な資料を展示し、先人の偉功を後世に伝えています。

7 医療事業



(諏訪赤十字病院での人工心肺装置を用いた心臓血管外科手術)

質の高い
医療の提供を

赤十字病院は、医療法における公的医療機関として、救急医療や癌などの高度専門医療、生活習慣病の予防や高齢社会での在宅医療、へき地医療などを積極的に行うなど、地域に根ざした医療を提供するとともに、安全・安心な医療環境を確保するための様々な取り組みを強化しています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症への対策強化を継続しつつ、感染症患者の受入れと通常診療の拡充を両立して取り組みました。急性期から在宅医療まで一連の医療提供に努め、地域医療の向上と確保にも尽力しました。

(1) 患者受入数

	入院患者数 (人)		外来患者数 (人)		救急患者数 (人)			
	延人数	1日平均	延人数	1日平均	時間内	時間外	深夜	合計
長野赤十字病院	194,251	532	344,997	1,420	2,705	10,941	2,916	16,562
諏訪赤十字病院	145,230	398	229,440	948	5,677	8,385	1,939	16,001
安曇野赤十字病院	84,367	231	102,916	422	2,289	3,716	820	6,825
飯山赤十字病院	74,419	204	89,941	370	4,449	1,416	392	6,257
下伊那赤十字病院	16,492	46	56,257	229	272	85	36	393
川西赤十字病院	23,563	65	15,663	64	175	210	14	399
合計	538,322	1,476	839,214	3,453	15,567	24,753	6,117	46,437
(前年度)	(547,920)	(1,500)	(813,300)	(3,361)	(17,107)	(21,979)	(5,353)	(44,439)

(2) 主な施設の整備状況

病 院 名	整 備 状 況
長野赤十字病院	ICU 陰圧化改修工事、病棟シャワーユニット・トイレ設置工事、全熱交換器設置工事、非常用発電機蓄電池更新整備、冷温水発生機熱交換器更新工事、重油地下タンク腐食対策工事、栄養課業務用蒸気回転釜・食器消毒保管庫更新
諏訪赤十字病院	電話交換機 PBX 更新工事、防犯カメラ増設工事
安曇野赤十字病院	院内照明 LED 化工事、直流電源装置蓄電池更新
飯山赤十字病院	ナースコール設備更新工事、手術室系統空調機更新工事、キュービクル高圧機器更新工事、診療情報管理室改修工事、防犯カメラ設置工事、消雪用井戸洗浄工事、多目的ホールエアコン更新工事
下伊那赤十字病院	院内照明 LED 化工事（北棟・健診センター）
川西赤十字病院	電話交換機更新

(3) 主な医療機器等の整備状況

病 院 名	整 備 状 況
長野赤十字病院	注射自動払出システム、全身麻酔器(4台)、超音波診断装置(4台)、血液凝固自動分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定システム、微生物感受性分析システム、人工透析装置(8台)、内視鏡手術システム、医用テレメータ、大動脈内バルーンポンプ(IABP)(2台)、全自動化学発光酵素免疫測定装置、血液パラメータモニタリングシステム、新生児小児用人工呼吸器、血液浄化用装置、細菌検査情報システム ハードウェア
諏訪赤十字病院	3テスラ磁気共鳴断層撮影装置 MRI、腹腔鏡ビデオシステム、バーチャルスライドシステム、泌尿器科用内視鏡テレビシステム、PCR検査装置、脊椎ナビゲーションシステム、生体情報モニター、骨密度測定装置、无影灯、血液培養自動分析装置、電動ベッド、電子黒板
安曇野赤十字病院	医事会計システム、全身麻酔装置、超音波画像診断装置、救護班用車両、光学式眼軸長測定装置、補助循環用バルーンポンプ駆動装置、自動再来機、手術用ロックアーム
飯山赤十字病院	CT 用造影剤自動注入装置、X線テレビ装置バージョンアップ、全自動散薬分包機、十二指腸用スコープ、移動型手術台、電気手術器、オージオメータ、全身麻酔装置、就業管理システム、IT資産管理システム、服薬指導システム、オンライン資格確認システム、画像診断・遠隔画像診断支援システム
下伊那赤十字病院	パックウォーマーミニ、解析付き心電計、睡眠評価装置、電動ベッド(20台)、多用途透析用監視装置、一酸化窒素ガス分析装置、超音波画像診断装置、眼圧計
川西赤十字病院	無散瞳眼底カメラ、自動血液凝固測定装置、低周波治療器

(7) 長野赤十字病院 注射自動払出システム機器の更新

診療機能の維持向上のため、注射自動払出システムを更新しました。本機器の整備により、注射薬調剤にかかる薬剤師業務の効率化が期待されています。



整備年月日	令和4年12月1日
機器名	注射自動払出システム
充当財源	86,900千円（自己資金）

(イ) 諏訪赤十字病院 磁気共鳴断層撮影装置 MRI の更新

現有機の経年劣化に伴い、最新のMRI装置に更新、導入しました。最新型はこれまで以上の精緻・鮮明な画質が得られるため、特に脳血管系患者の画像診断に役立つとともに、撮影時間の短縮により、検査待ち時間の解消につながることが期待されています。



整備年月日	令和5年3月29日
機器名	3テスラ磁気共鳴断層撮影装置 MRI
充当財源	206,800千円（自己資金）

8 看護師養成



全ての人に
寄り添う心を

(諏訪赤十字看護専門学校にて行われた戴帽式)

諏訪赤十字看護専門学校では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、豊かな人間性を育みながら看護に関する幅広い能力を備え、保健医療や国内外の医療救済活動など広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延によりオンラインを活用した授業に取り組むとともに、臨床実習支援システムや災害救済実習の場を活用して、より実践的な看護の知識・技術の習得に努めました。

(1) 諏訪赤十字看護専門学校

諏訪赤十字看護専門学校(大正12(1923)年開校)は、これまでに2,711人の卒業生を輩出しており、令和4年度は新入生として31人の学生を迎えました。入学生は3年間の勉学ののち、看護師として広く活躍することが期待されています。

なお、3,465人の卒業生を送り出した長野赤十字看護専門学校は令和3年度末をもって閉校しました。



戴帽式



卒業式



看護学生による災害救護演習



授業風景

(2) 日本赤十字豊田看護大学の支部長推薦

令和5年度入学生として長野県支部からの推薦者1人が中部圏で唯一の赤十字看護大学である日本赤十字豊田看護大学（愛知県豊田市）に合格しました。

また、令和4年度に看護師養成課程を修了した卒業生は、県内の赤十字病院（諏訪3人）に就職しました。

これまでに、同校の卒業生108人が、県内赤十字病院に勤務し、活躍しています。

（日本赤十字豊田看護大学卒業生の県内赤十字病院への就職状況）

長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	合計
39	41	12	13	3	108

9 血液事業



(長野県赤十字血液センター 松本事業所)

献血で助かる
命のために

新型コロナウイルス感染症のまん延により、テレワークやオンライン授業の普及が進み、献血を取り巻く社会環境は大きく変化しています。このような状況の中、赤十字血液センターでは、病気やケガで輸血を必要とする人のため、皆さまに献血をお願いするとともに、検査・製剤化された血液を医療機関へお届けしています。

献血された血液は、血液型検査や各種感染症検査を行った後、厳重な品質管理のもと、安全性の高い輸血用血液製剤として24時間体制で医療機関に供給しています。

また、令和5年1月に開設した松本事業所では、中南信地域における移動採血の拠点として、移動採血車による献血者の安定確保と血液製剤の安定供給を図るための効率的で効果的な事業運営に取り組んでいます。

(1) 血液センター別の献血者数

区分	長野センター	献血ルーム	献血ルーム	松本事業所	諏訪出張所	合計	
		(長野)	(松本)				
目標人数	17,444	24,274	20,873	0	15,622	78,213	
献血種別 献血者数	200mL	11	363	379	5	2	760
	400mL	16,507	8,631	7,571	2,997	12,502	48,208
	成分	0	12,883	12,684	0	0	25,567
献血者数計	16,518	21,877	20,634	3,002	12,504	74,535	
達成率 (%)	94.7	90.1	98.9	-	80.0	95.3	
前年度献血者数	16,359	20,952	20,189	0	20,712	78,212	

※松本事業所については、開設日以降の献血者数

(2) 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」

安全性の高い血液製剤を迅速かつ安定的に供給するためには、緊急時や不足時に献血にご協力いただくことが必要となります。

血液センターでは、日頃から多くの方々に献血に関心を持ってもらえるよう、献血にご協力いただいた皆さまに「ラブラッド」への入会をご案内し、電子メールにて次回献血可能日やキャンペーン等をお知らせしています。また9月には、新たに「ラブラッドアプリ」をリリースし、アプリ版献血カードや事前 Web 問診回答機能などを導入、運用を開始しました。

(3) 原料血漿の確保

血漿分画製剤を含むすべての血液製剤を国内献血によって確保するため、厚生労働省から示された目標量の確保に努めています。

(4) 学生献血キャンペーンの開催

長野県学生献血推進連盟「結（ゆい）」が、県内の商業施設において献血サマーキャンペーン（7月）及びクリスマスキャンペーン（12月）を行いました。街頭で若年層献血への協力を広く呼びかけるとともに、献血に協力いただいた献血者へ記念品を贈呈する等のボランティア活動に取り組みました。



サマーキャンペーン（イオンスタイル上田）

(5) 長野県内献血者 500 万人を達成

昭和 40(1965)年 2 月に長野県赤十字血液センターを開設して以来、多くの皆様に献血のご協力をいただき、令和4年7月5日、県内における献血者数が累計 500 万人を達成することができました。引き続き、若年層への献血啓発を積極的に行うとともに、地方自治体と連携した献血セミナーを開催するなど、年間を通じて献血者の安定確保に努めてまいります。



500 万人達成（長野献血ルーム）



献血セミナーの様子

10 社会福祉事業



(松本赤十字乳児院での昼食バイキング)

安心して元気な
社会を目指して

超高齢社会を迎える日本では、介護や生活支援を必要とする高齢者が増えているにもかかわらず、生活を支える体制が十分ではありません。また、地域住民同士のつながりが希薄になることにより、子育てや介護に不安を感じ、地域から孤立する家庭が増えています。

赤十字は、社会的な支援を必要とする方々が個人の尊厳を持って、その人らしい自立した生活を送ること、また、誰もが安心して元気に生活できる社会を目指して、社会福祉事業を行っています。

(1) 松本赤十字乳児院

平成28年の改正児童福祉法では、子どもが権利の主体であることを明確にし、家庭への養育支援から代替養育までの「社会的養育の充実」とともに「家庭養育優先」の理念を規定し、実親による養育が困難であれば、特別養子縁組による永続的解決や里親による養育を推進することが明確にされました。

乳児院においては、24時間365日の専門的養育機能を土台として、乳児院が備えている養育に関する専門性を地域の家庭支援や里親支援へ活かしていく高機能化・多機能化が求められています。

令和4年度は、長野県から「里親養育包括支援事業」を受託して里親支援機関（民間ホスティング機関A型）となって2年目を迎え、里親の募集、マッチング、委託後の支援まで一貫した里親支援に引き続き取り組みました。また、「信州松本圏域・新しい育みプロジェクト」（松本児童相談所、松本市・塩尻市・安曇野市、松本赤十字乳児院）に参画し、官民共同で地域の在宅支援や里親支援に取り組みました。

なお、地域に向けた各種事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施を自粛せざるを得ない状況にありました。

ア 制度別利用状況（入所定員 18 名）

制度	実人数	延日数
入 所	20	4,210
一 時 保 護	31	902
ショートステイ	33	167
合 計	84	5,279



家庭菜園で作ったモロコシ収穫

イ 入所乳幼児の年間入所者数（理由別）

虐 待	家族疾病	家庭環境	未 婚	児疾病	家 出	その他	合 計
10	5	2	1	0	2	0	20

※その他：特別養子縁組ほか

ウ 事業実施状況

事業内容	開催回数	参加人数
マタニティ教室	3	6
わくポケ親子広場	0	0
里 親 交 流 会	4	12
養 育 支 援 訪 問	80	80
里 親 相 談 会	6	31



里親相談会

(2) にこにこ赤十字健康教室

平成7年度の遺贈金をもとに社会福祉事業基金を創設し、この基金を活用した「にこにこ赤十字健康教室」事業を立ち上げました。以来、高齢者を対象に、健康に関するさまざまなプログラムや紙芝居の上演などを盛り込んだ健康教室を県内各地で開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、開催を見送りました。

11 評議員会



(2月に開催された評議員会)

より信頼される

赤十字へ

評議員会において、次のとおり事業報告、決算、事業計画及び予算など、支部の重要な業務について審議が行われました。

(1) 令和4年6月15日

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算について

審議の結果、原案のとおり承認されました。

(2) 令和4年8月30日(文書審議)

議案 日本赤十字社長野県支部支部長の選出について

審議の結果、原案のとおり承認されました。

(3) 令和5年2月14日

第1号議案 令和5年度事業計画(案)について

第2号議案 令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算(案)について

第3号議案 日本赤十字社長野県支部監査委員の選出について

審議の結果、原案のとおり承認されました。



評議員会

県内の赤十字の会員の中から選出された評議員で組織され、支部の重要な業務について審議する機関のことです。

12 監査報告



支部及び県内赤十字施設の令和4年度事業にかかる監査委員監査を、次のとおり実施しました。

監査委員	牛越 徹	貴舟 豊	柳澤 勇
------	------	------	------

施設名	監査実施年月日
長野赤十字病院	令和5年5月29日
諏訪赤十字病院	5月31日
安曇野赤十字病院	5月23日
飯山赤十字病院	5月29日
下伊那赤十字病院	5月31日
川西赤十字病院	5月24日
松本赤十字乳児院	5月23日
長野県赤十字血液センター	6月2日
日本赤十字社長野県支部	6月2日

令和元年度決算から三様監査（①監査委員による監査②監査法人が会計監査を行う外部監査③本社監査室による内部監査）が実施されています。

令和4年度 一般会計歳入歳出決算報告書
(長野県支部)

1. 令和4年度一般会計歳入歳出決算について

歳 入

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部収入	589,889,000	581,077,530	613,483,098	△ 32,405,568	
1 活動資金収入	512,795,000	504,195,024	521,590,845	△ 17,395,821	
一般活動資金	455,348,223	455,348,223	471,699,289	△ 16,351,066	支部及び地区区分区扱いの一般活動資金収入の減
法人活動資金	48,846,801	48,846,801	49,891,556	△ 1,044,755	支部及び地区区分区扱いの法人活動資金収入の減
					【令和4年度実績】 (地区区分 252,549,127 支部 55,094,399 施設 196,551,498)
2 委託金等収入	0	15,000	15,000	0	
他団体等委託金収入		15,000	15,000	0	
3 補助金及び交付金収入	9,884,000	11,364,887	11,868,711	△ 503,824	
他団体等補助金収入		0	705,320	△ 705,320	赤十字有功会からの補助金の減
管理経費調整交付金収入		554,240	109,402	444,838	本社研修及び会議等にかかる本社交付金の増
施設整備交付金収入		7,762,789	8,894,422	△ 1,131,633	施設に対する本社交付金の減
障害者雇用促進事業助成金収入		540,000	540,000	0	
その他本社交付金収入		2,507,858	1,619,567	888,291	第3ブロック支部合同救護訓練にかかる本社交付金の増
4 災害義援金預り金収入	0	0	45,601,212	△ 45,601,212	
災害義援金預り金収入		0	45,601,212	△ 45,601,212	長野県対象の災害義援金にかかる預り金の減
5 繰入金収入	52,403,000	50,650,263	11,558,419	39,091,844	
災害等資金繰入金収入		34,167,240	0	34,167,240	県内施設救護員輸送車両整備にかかる資金繰入の増
国際救護活動資金繰入金収入		6,918,619	40,000	6,878,619	個人住民税控除適用海外救援金にかかる資金繰入金の増
特別退職金積立留保金繰入金収入		0	5,526,740	△ 5,526,740	特別退職金支給制度廃止にかかる資金繰入金の減
事業準備積立繰入金収入		9,483,409	5,915,639	3,567,770	長野県対象の災害義援金(前年度受付分)送金にかかる繰入金金の増
本社繰入金収入		80,995	76,040	4,955	海外たすけあい人件費にかかる本社繰入金金の増
9 資産収入	5,412,000	6,850,250	6,027,000	823,250	
地代収入		6,850,250	6,027,000	823,250	駐車場等貸付収入の増
10 雑収入	7,117,000	6,715,174	5,277,654	1,437,520	
講習会等負担金収入		4,420,882	4,034,014	386,868	講習依頼の増加に伴う主催者負担金及び教本代収入の増
その他負担金収入		168,000	0	168,000	第3ブロック青年赤十字奉仕団会議にかかる他県支部負担金収入の増
雑収入		2,126,292	1,243,640	882,652	出向職員にかかる退職及び年金費用(出向先施設負担分)の増
11 前年度繰越金	2,278,000	1,286,932	11,544,257	△ 10,257,325	
前年度繰越金		1,286,932	11,544,257	△ 10,257,325	コロナによる事業不執行額を積立に充当したことによる減

歳出

(単位:円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部費	589,889,000	569,471,287	612,196,166	△ 42,724,879	
1 災害救護事業費	77,212,000	71,699,861	73,114,696	△ 1,414,835	
災害救護指導事業費	14,328,073	15,903,032	15,903,032	△ 1,574,959	救護業務管理費の減
災害救護整備費	40,088,049	5,535,407	5,535,407	34,552,642	県内施設への救護員輸送用車両整備にかかる増
非常災害救援物資整備費	2,440,900	2,236,300	2,236,300	204,600	救援物資整備費の増
災害義援金送付金	9,483,409	42,033,442	42,033,442	△ 32,550,033	長野県対象の災害義援金にかかる送金の減
救護看護師指導養成費	5,359,430	7,406,515	7,406,515	△ 2,047,085	長野看護専門学校閉校による負担養成経費負担金の減
2 社会活動費	74,395,000	67,457,056	63,090,683	4,366,373	
救急法等普及費	19,534,111	19,534,111	16,718,901	2,815,210	指導員研修会費、資料整備費及び救急法等指導管理費の増
奉仕団活動費	26,988,968	26,988,968	23,218,210	3,770,758	研修資材作成費等の増
青少年赤十字活動費	6,831,789	6,831,789	5,410,202	1,421,587	トレーニングセンターの再開に伴う事業費の増
社会福祉活動費	20,000	20,000	20,000	0	
医療事業費	7,069,724	7,069,724	10,732,872	△ 3,663,148	医療事業管理費の減
血液事業費	7,012,464	7,012,464	6,990,498	21,966	血液事業管理費の増
3 国際活動費	9,054,000	9,018,619	2,484,000	6,534,619	
国際救護事業費	1,470,000	1,470,000	1,680,000	△ 210,000	第3ブロック合同事業費の減
個人住民税控除海外救援金	6,918,619	6,918,619	40,000	6,878,619	個人住民税控除適用海外救援金にかかる送金の増
国際開発協力事業	630,000	630,000	720,000	△ 90,000	第3ブロック合同事業費の減
国際活動管理費	0	0	44,000	△ 44,000	海外救援金受領書作成費の減
4 指定事業地方振興費	14,919,000	13,608,619	11,550,000	2,058,619	
災害救護設備整備費	2,000,000	2,000,000	5,530,000	△ 3,530,000	施設に対する個人住民税控除適用寄付金の減
救急医療体制整備費	4,690,000	4,690,000	5,980,000	△ 1,290,000	施設に対する個人住民税控除適用寄付金の減
支那国際活動基金積立金	6,918,619	6,918,619	40,000	6,878,619	個人住民税控除適用海外救援金にかかる積立金の増
5 地区区分交付金支出	48,000,000	46,171,465	48,098,028	△ 1,926,563	
事務費交付金支出	21,457,350	21,457,350	22,126,622	△ 669,272	地区区分における活動資金収入の減に伴う交付金の減(活動資金実績の8%)
事業費交付金支出	24,714,115	24,714,115	25,971,406	△ 1,257,291	地区区分における活動資金収入の減に伴う交付金の減(活動資金実績の10%)
6 社業振興費	34,728,000	32,895,009	35,684,681	△ 2,789,672	
社業振興費	14,644,176	14,644,176	13,882,792	761,384	活動資金募集にかかる会議費等の増
広報活動費	18,250,833	18,250,833	21,801,889	△ 3,551,056	テレビCMにかかる宣伝費の減
7 基盤整備交付金・補助金支出	171,296,000	171,295,063	80,230,810	91,064,253	
医療施設基盤整備交付金支出	170,163,063	170,163,063	78,180,810	91,982,253	医療施設に対する寄付金の増に伴う交付金の増(個人住民税控除適用寄付金を除く)
社会福祉施設基盤整備交付金支出	1,132,000	1,132,000	2,050,000	△ 918,000	社会福祉施設に対する寄付金の減に伴う交付金の減(個人住民税控除適用寄付金を除く)

歳出

(単位:円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
10 積立金支出	42,200,000	42,191,148	178,979,263	△ 136,788,115	
災害等資金積立金支出		0	154,999,740	△ 154,999,740	大口寄付金及び特別退職金留保金を財源とする積立の減
施設整備準備資金積立金支出		34,500,000	8,000,000	26,500,000	コロナによる事業不執行費を財源とする積立の増
事業準備積立金支出		0	9,483,409	△ 9,483,409	長野県村寨の災害義援金の受付が無かったことによる減
退職給与資金特別会計積立金支出		7,691,148	6,496,114	1,195,034	退職給与資金積立額の増
12 総務管理費	40,820,000	39,991,489	38,136,307	1,855,182	
評議員会等諸費		908,197	33,518	874,679	参加形式で開催したことによる会場借用費及び評議員旅費の増
総務管理費		38,623,292	37,642,789	980,503	会議・研修にかかる旅費の増及び支部庁舎にかかる光熱費の増
監査費		460,000	460,000	0	
13 資産取得及び資産管理費	3,060,000	3,054,998	6,136,572	△ 3,081,574	
修繕費		0	544,159	△ 544,159	歴史資料館の手すり設置費の減
損害保険料		671,931	439,041	232,890	県内施設への救護員輸送用車両整備にかかる増
管理諸費		2,383,067	5,153,372	△ 2,770,305	旧庁舎のPCB廃棄物処理費の減
14 本社送納金支出	72,088,000	72,087,960	74,691,126	△ 2,603,166	
本社送納金支出		72,087,960	74,691,126	△ 2,603,166	活動資金収入の減少に伴う減(指定事業寄付金を除く活動資金実績の15%)
15 予備費	2,117,000	0	0	0	
予備費		0	0	0	
歳入歳出差引残額(翌年度繰越額)		11,606,243			

令和4年度 特別会計歳入歳出決算報告書
(医療施設・社会福祉施設)

令和4年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

収益の収入及び支出

科 目	施設名	長野赤十字病院	諏訪赤十字病院	安曇野赤十字病院
医業収益		23,924,536,752	18,803,577,925	6,555,842,344
医業費用		24,497,146,465	18,452,902,217	6,929,658,153
医療事業利益（損失）		△572,609,713	350,675,708	△373,815,809
医業外収益		2,628,595,091	1,882,980,820	980,635,741
医業外費用		103,717,487	56,951,655	45,883,845
医業外利益（損失）		2,524,877,604	1,826,029,165	934,751,896
医療社会事業収益		13,077,375	7,362,492	9,242,400
医療奉仕費用		106,905,736	64,317,365	128,493,746
医療社会事業利益（損失）		△93,828,361	△56,954,873	△119,251,346
付帯事業収益		146,186,957	201,897,532	70,450,497
付帯事業費用		123,319,678	290,944,206	61,497,514
付帯事業利益（損失）		22,867,279	△89,046,674	8,952,983
特別利益		916,174	8,824,257	545,950
特別損失		8,467,842	40,920,386	265,729
特別利益（損失）		△7,551,668	△32,096,129	280,221
法人税等		0	939,042	0
病院収益		26,713,312,349	20,904,643,026	7,616,716,932
病院費用		24,839,557,208	18,906,974,871	7,165,798,987
当期純利益（損失）		1,873,755,141	1,997,668,155	450,917,945
前期繰越利益（損失）		8,596,234,603	4,870,950,378	△4,088,452,889
当期末処分利益（損失）		10,469,989,744	6,868,618,533	△3,637,534,944
利益剰余金(欠損金) 累計額(令和4年度末)		10,469,989,744	6,868,618,533	△3,637,534,944

(単位：円)

飯山赤十字病院	下伊那赤十字病院	川西赤十字病院	合 計
4,012,477,687	1,340,110,781	815,860,566	55,452,406,055
4,646,128,681	1,526,367,934	1,000,619,782	57,052,823,232
△ 633,650,994	△ 186,257,153	△ 184,759,216	△ 1,600,417,177
1,372,502,348	417,205,094	282,333,406	7,564,252,500
45,890,173	3,608,874	3,131,825	259,183,859
1,326,612,175	413,596,220	279,201,581	7,305,068,641
3,914,218	566,351	33,472,120	67,634,956
75,912,136	585,551	27,325,689	403,540,223
△ 71,997,918	△ 19,200	6,146,431	△ 335,905,267
84,237,481	203,515,939	84,730,688	791,019,094
108,883,024	237,736,649	67,480,810	889,861,881
△ 24,645,543	△ 34,220,710	17,249,878	△ 98,842,787
848,928	0	20,683	11,155,992
3,324,423	180,140	278,675	53,437,195
△ 2,475,495	△ 180,140	△ 257,992	△ 42,281,203
0	0	0	939,042
5,473,980,662	1,961,398,165	1,216,417,463	63,886,468,597
4,880,138,437	1,768,479,148	1,098,836,781	58,659,785,432
593,842,225	192,919,017	117,580,682	5,226,683,165
△1,737,827,261	66,631,101	△1,019,744,950	6,687,790,982
△1,143,985,036	259,550,118	△902,164,268	11,914,474,147
△1,143,985,036	259,550,118	△902,164,268	11,914,474,147

令和4年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

科 目	松本赤十字乳児院
事業活動収入	224,163,497
事業活動支出	250,715,281
事業活動資金収支差額	△26,551,784
施設整備等収入	0
施設整備等支出	419,980
施設整備等収支差額	△419,980
その他の活動収入	53,703,993
その他の活動支出	26,612,286
財務活動収支差額	27,091,707
当期資金収支差額合計	119,943
前期末支払資金残高	62,204,016
当期末支払資金残高	62,323,959

資料編

災害救護	61
1. 医療救護班数等	
2. 救援物資の備蓄状況	
赤十字奉仕団	63
1. 結成状況	
青少年赤十字	65
1. 加盟校名簿	
救急法などの講習	68
1. 講習種別等	
2. 市町村別の講習実施状況	
3. 各講習の指導員数	
4. 講習資材の整備状況	
医療事業	71
1. 病院別の診療科目及び病床数	
2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況	
看護師養成事業	73
1. 看護師養成の状況	
2. 長野県支部長推薦による 日本赤十字豊田看護大学在学状況	
血液事業	74
1. 血液センター別の供給本数	
2. 血液型別複数回献血クラブ 「ラブラッド」会員数	
3. 原料血漿の確保状況	
日本赤十字社長野県支部現勢	75
日本赤十字社現勢	76
日本赤十字社の機構	77
日本赤十字社長野県支部役員名簿	78
地区分区住所録	79
赤十字施設一覧表	84

(統計数字等は、令和5年3月31日現在)

災 害 救 護

1. 医療救護班数等

(1) 医療救護班

施設名	救護班数(班)	人員(人)
長野赤十字病院	5	35
諏訪赤十字病院	3	21
安曇野赤十字病院	2	12
飯山赤十字病院	2	14
下伊那赤十字病院	2	12
川西赤十字病院	2	12
合計	16	106

(2) 日赤災害医療コーディネートチーム

施設名	コーディネーター (医師)	コーディネートスタッフ (看護師・主事)	計 (人)
長野赤十字病院	2	11	13
諏訪赤十字病院	1	4	5
安曇野赤十字病院	1	3	4
川西赤十字病院	1	0	1
長野県支部	0	3	3
合計	5	21	26

(3) 血液供給要員

施設名	人員(人)
長野県赤十字血液センター	12
長野県赤十字血液センター松本事業所	10
合計	22

(4) 防災ボランティア

団体名	人員(人)	備考
長野県赤十字救護隊	79	4方面隊設置
長野県柔道整復師会赤十字奉仕団	543	4地区設置
赤十字飛行隊長野支隊	1	本社直轄
合計	623	

2. 救援物資の備蓄状況

管理	保管場所		毛布 (枚)	緊急 セット (セット)	安眠 セット (セット)	タオルケット (枚)	
支部	北信	支部倉庫	長野県支部	527	285	741	1,400
		中野市倉庫	中野市防災広場	1,000	120	499	0
		須坂市倉庫	須坂市老人福祉センター「永楽荘」	560	0	150	0
		千曲市倉庫	千曲市ふれあい福祉センター	710	216	795	0
	中信	松本市倉庫	松本平広域公園	3,790	2,118	2,844	1,290
		大町市倉庫	大町市常盤貝原	1,570	1,500	465	0
		木曾町倉庫	木曾クリーンセンターリサイクル広場	800	0	153	0
		池田町倉庫	池田町防災倉庫	400	0	200	0
	東信	東御市倉庫	東御市第二体育館	500	0	0	0
		佐久市倉庫	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	827	120	400	0
		小海町倉庫	小海町旧松原保育所跡地	700	420	940	0
			小海町総合センター	500	330	510	0
		上田市倉庫	上田市立清明小学校児童クラブ	300	0	150	0
		小諸市倉庫	小諸市総合体育館	400	0	0	0
		軽井沢町倉庫	軽井沢風越公園総合体育館	190	19	190	0
	南信	辰野町倉庫	辰野町荒神山スポーツ公園	272	0	0	0
		平谷村倉庫	飯田広域消防平谷分署隣	460	0	0	0
		駒ヶ根市倉庫	駒ヶ根市防災備蓄倉庫	762	174	190	0
		岡谷市倉庫	諏訪湖ハイウェイ駐車場防災倉庫	200	0	100	0
		喬木村倉庫	喬木村帰牛原	560	0	200	0
		天龍村倉庫	天龍村老人福祉センター	500	0	240	0
		伊那市倉庫	伊那市防災倉庫	1,400	590	390	0
		富士見町倉庫	富士見町防災ステーション	508	0	300	100
	小計			17,436	5,892	9,457	2,790
	施設	赤十字施設(7)	各赤十字病院・血液センター	1,686	0	692	0
	地区分区	地区分区倉庫(79)	各事務局	3,228	0	20	0
	合計			22,350	5,892	10,169	2,790

赤 十 字 奉 仕 団

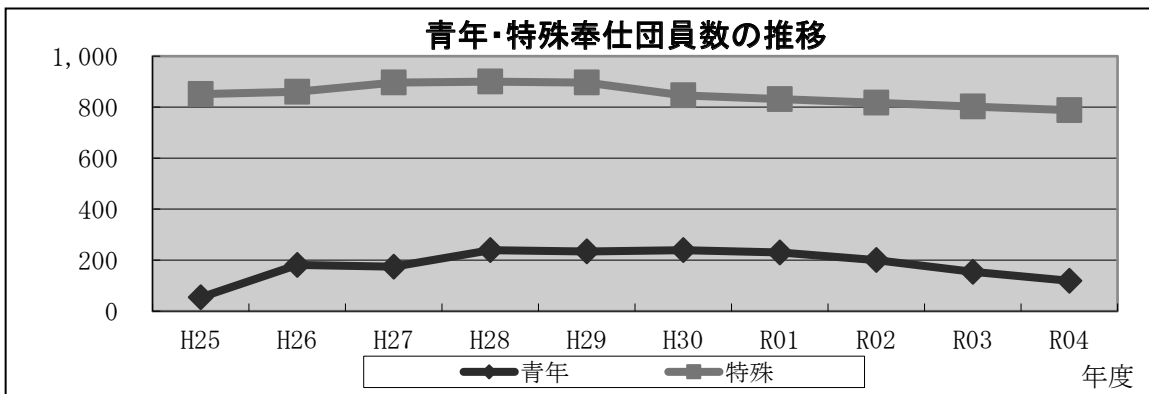
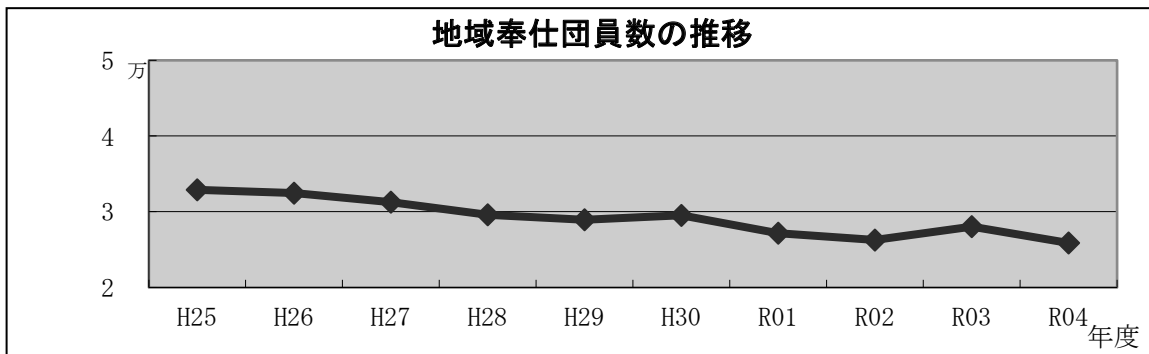
1. 結成状況

	区 分	結成数	団員数
市 地 区 地 域 奉 仕 団	長 野 市	1	2,301
	松 本 市	1	1,006
	上 田 市	1	2,432
	岡 谷 市	1	300
	飯 田 市	1	1,595
	諏 訪 市	1	205
	須 坂 市	1	643
	小 諸 市	1	2,892
	伊 那 市	1	283
	駒ヶ根市	1	83
	中 野 市	1	1,875
	大 町 市	1	1,206
	飯 山 市	1	185
	茅 野 市	1	284
	塩 尻 市	1	573
	佐 久 市	1	1,669
	千 曲 市	1	871
	東 御 市	1	320
	安 曇 野 市	1	1,225
	小 計	19	19,948
郡 地 区 地 域 奉 仕 団	南 佐 久 郡	6	412
	北 佐 久 郡	3	531
	小 県 郡	2	128
	諏 訪 郡	3	469
	上 伊 那 郡	6	935
	下 伊 那 郡	13	2,067
	木 曾 郡	6	198
	東 筑 摩 郡	5	223
	北 安 曇 郡	4	185
	埴 科 郡	1	280
	上 高 井 郡	2	43
	北 信	4	243
	上 水 内 郡	3	219
		小 計	58
地域奉仕団 合計①		77	25,881

区 分		結成数	団員数
奉 仕 団 青 年	諏訪赤十字看護	1	95
	長 野 大 学	1	12
	青年(社会人)	1	12
合 計 ②		3	119

区 分		結成数	団員数
特 殊 奉 仕 団	救 護 隊	1	79
	情 報	1	0
	水 上 安 全	1	21
	安 全	1	11
	大町市救急員会	1	18
	青少年赤十字賛助	1	9
	柔道整復師会	1	543
	広 報	1	80
	音 訳	1	26
	赤十字飛行隊長野支隊	1	1
合 計 ③		10	788

区 分	結成数	団員数
赤十字奉仕団 合計 ①～③ (前 年 度)	90 (92)	26,788 (28,979)



青少年赤十字

1. 加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
長野市	小学校	11	2,878	古牧・吉田・湯谷・若槻・芋井・安茂里・川田・七二会・信州新町・長沼・山王
	中学校	13	3,994	柳町・東部・西部・東北・北部・裾花・川中島・更北・戸隠・鬼無里・大岡・長野・附属長野
	高等学校	13	675	長野・長野西・長野商業・長野東・長野工業・篠ノ井高校犀峽校・長野南・篠ノ井・更級農業・松代・市立長野・文化学園長野・長野俊英
	特別支援学校	2	50	長野盲・長野養護
松本市	小学校	6	2,573	並柳・田川・開明・菅野・二子・附属松本
	中学校	8	2,195	清水・鎌田・松島・開成・高綱・明善・奈川・附属松本
	高等学校	9	68	梓川・松本県ヶ丘・松本美須々ヶ丘・松本深志・松本蟻ヶ崎・松本筑摩・松本国際・松本第一・エクセラシ
上田市	小学校	0	0	
	中学校	5	2,109	塩田・第一・第六・真田・丸子北
	高等学校	4	81	上田東・丸子修学館・上田西・さくら国際
岡谷市	小学校	2	204	長地・上の原
	中学校	0	0	
	高等学校	1	10	岡谷工業
飯田市	小学校	3	375	山本・川路・鼎
	中学校	5	1,449	飯田西・緑ヶ丘・旭ヶ丘・竜峡・鼎
	高等学校	3	37	飯田・飯田風越・飯田OIDE長姫
諏訪市	小学校	3	1,043	城南・四賀・湖南
	中学校	1	258	諏訪
	高等学校	0	0	
須坂市	小学校	11	2,173	須坂・小山・森上・日滝・豊洲・日野・井上・高甫・旭ヶ丘・仁礼・豊丘
	中学校	4	1,291	常盤・相森・墨坂・東
	高等学校	3	42	須坂東・須坂・須坂創成
小諸市	小学校	0	0	
	中学校	1	381	芦原
	高等学校	2	28	小諸商業・小諸

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
伊那市	小学校	1	714	伊那
	中学校	1	620	春富
	高等学校	3	79	高遠・伊那北・伊那弥生ヶ丘
駒ヶ根市	小学校	0	0	
	中学校	1	626	赤穂
	高等学校	0	0	
中野市	小学校	2	1,394	中野・平野
	中学校	2	588	中野平・豊田
	高等学校	2	21	中野立志館・中野西
大町市	小学校	4	1,306	大町東・大町南・大町北・大町西
	中学校	0	0	
	高等学校	1	15	大町岳陽
飯山市	小学校	0	0	
	中学校	0	0	
	高等学校	1	12	飯山
茅野市	小学校	1	686	宮川
	中学校	2	791	東部・長峰
	高等学校	1	2	茅野
塩尻市	小学校	4	1,399	塩尻東・片丘・宗賀・洗馬
	中学校	0	0	
	高等学校	3	116	塩尻志学館・田川・東京都市大学塩尻
佐久市	小学校	2	567	田口・中佐都
	中学校	5	1,208	野沢・中込・浅間・東・浅科
	高等学校	5	665	長野西高校望月サテライト・岩村田・野沢北・佐久平総合技術浅間キャンパス・佐久平総合技術臼田キャンパス
千曲市	小学校	0	0	
	中学校	2	871	更埴西・屋代
	高等学校	1	3	屋代南
東御市	小学校	1	210	北御牧
	中学校	1	139	北御牧
	高等学校	1	0	東御清翔
安曇野市	小学校	1	716	豊科南
	中学校	1	33	穂高東
	高等学校	4	122	明科・豊科・南安曇農業・穂高商業
南佐久郡	小学校	1	17	小海
	中学校	0	0	
	高等学校	1	12	小海

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
北佐久郡	小学校	3	1,373	軽井沢西部・御代田南・立科
	中学校	2	469	軽井沢・御代田
	高等学校	2	10	蓼科・軽井沢
小 県 郡	小学校	1	32	青木
	中学校	1	108	青木
諏 訪 郡	小学校	0	0	
	中学校	2	635	下諏訪社・富士見
	高等学校	1	8	下諏訪向陽
上伊那郡	小学校	3	550	川島・飯島・中川西
	中学校	4	1,471	辰野・箕輪・飯島・中川
	高等学校	3	29	辰野・箕輪進修・上伊那農業
下伊那郡	小学校	2	57	喬木第二・新野
	中学校	1	12	天龍
	高等学校	2	28	松川・阿智
木 曾 郡	小学校	0	0	
	中学校	1	57	木祖
	高等学校	0	0	
東筑摩郡	小学校	0	0	
	中学校	1	173	生坂
	高等学校	0	0	
北安曇郡	小学校	1	544	松川
	中学校	1	233	松川
	高等学校	2	134	池田工業・白馬
埴 科 郡	小学校	0	0	
	中学校	1	390	坂城
	高等学校	1	5	坂城
上高井郡	小学校	1	604	栗ガ丘
	中学校	2	535	小布施・高山
下高井郡	小学校	1	190	山ノ内東
	中学校	1	300	木島平
	高等学校	0	0	
上水内郡	小学校	2	350	三水・信濃
	中学校	1	160	飯綱
	高等学校	0	0	
下水内郡	小学校	0	0	
	中学校	1	14	栄

救 急 法 な ど の 講 習

1. 講習種別等

講習区分	講習名	講習内容	講習時間
救 急 法	基礎講習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去法）等救急法の基礎	4 時間
	救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、搬送及び救護	10 時間
	短期講習	基礎講習及救急員養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14 時間
	救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12 時間
	短期講習	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度
健康生活支援講習	支援員養成講習	健康増進・介護予防、地域で行う高齢者支援活動及び家庭内で行う看護や介護の知識・技術	12 時間 (2 時間×6)
	災害時高齢者生活支援講習	災害時における高齢者を守るための知識及び支援技術	2 時間
	短期講習	健康生活支援講習支援員養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	こどもに起こりやすい事故の予防と手当及びこどもの病気への対応	12 時間
	短期講習	支援員養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度

2. 市町村別の講習実施状況（回）

北信地域	救	水	健	幼	計
中野市	4		1		5
飯山市	2		2	1	5
山ノ内町	1				1
木島平村				1	1
野沢温泉村					
栄村					

長野地域	救	水	健	幼	計
長野市	149		9	12	170
須坂市	2				2
千曲市					
坂城町	1				1
小布施町	4				4
高山村					
信濃町	3			1	4
飯綱町	5			1	6
小川村	1				1

上小地域	救	水	健	幼	計
上田市	12				12
東御市	1				1
長和町					
青木村					

佐久地域	救	水	健	幼	計
小諸市					
佐久市	5		3		8
小海町					
佐久穂町					
川上村	3				3
南牧村					
南相木村					
北相木村					
軽井沢町					
御代田町					
立科町					

松本地域	救	水	健	幼	計
松本市	26		2	6	34
塩尻市	9		2	4	15
安曇野市	7		1	9	17
麻績村					
生坂村			1	2	3
山形村	1				1
朝日村					
筑北村	2				2

大北地域	救	水	健	幼	計
大町市	10				10
池田町					
松川村					
白馬村	1				1
小谷村	1				1

諏訪地域	救	水	健	幼	計
岡谷市	11				11
諏訪市	13				13
茅野市	5				5
下諏訪町					
富士見町	2				2
原村			2	1	3

木曾地域	救	水	健	幼	計
上松町					
南木曾町					
木曾町	6				6
木祖村	1				1
王滝村	1				1
大桑村					

上伊那地域	救	水	健	幼	計
伊那市	20				20
駒ヶ根市	4				4
辰野町	17		1		18
箕輪町	14				14
飯島町	1				1
南箕輪村	9				9
中川村					
宮田村					

飯伊地域	救	水	健	幼	計
飯田市	51				51
松川町	2				2
高森町					
阿南町					
阿智村	3				3
平谷村					
根羽村					
下條村					
売木村					
天龍村					
泰阜村					
喬木村	3				3
豊丘村	2				2
大鹿村					

合計	救	水	健	幼	計
	415	0	24	38	477

救：救急法
 水：水上安全法
 健：健康生活支援講習
 幼：幼児安全法

3. 各講習の指導員数

講習区分	指導員数（人）		
	ボランティア	職員	計
救 急 法	147	72	219
水 上 安 全 法	9	1	10
健康生活支援講習	28	56	84
幼 児 安 全 法	19	58	77
雪 上 安 全 法	0	2	2
合 計	203	189	392

4. 講習資材の整備状況

整備品目	数量(体、台)
人工呼吸訓練人形（乳児）	26
心肺蘇生訓練人形（乳児）	20
心肺蘇生訓練人形（幼児）	26
心肺蘇生訓練人形（成人）	40
心肺蘇生訓練人形（成人半身）	158
心肺蘇生訓練人形（ミニアン）	139
自動体外式除細動器（AED）トレーナー	151

医 療 事 業

1. 病院別の診療科目及び病床数

区 分	診 療 科 目	許 可 病 床 数
長野赤十字病院	内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、脳神経外科、アレルギー科、小児科、産婦人科、婦人腫瘍科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児外科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科 (38科)	一 般 635 精 神 45 計 680
諏訪赤十字病院	内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科 (32科)	一 般 425 精 神 30 計 455
安曇野赤十字病院	内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科、糖尿病・内分泌内科、心臓血管外科 (23科)	一 般 316
飯山赤十字病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、小児科、整形外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、呼吸器科、麻酔科、脳神経内科、循環器科、消化器科、心療内科、救急科 (21科)	一 般 244 療養型 44 計 288
下伊那赤十字病院	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、消化器外科、肛門外科 (14科)	一 般 66 療養型 6 計 72 介護医療院 34 計 34
川西赤十字病院	内科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、小児科 (10科)	一 般 51 療養型 33 計 84
合 計		一 般 1,737 精 神 75 療養型 83 計 1,895 介護医療院 34 計 34

2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況

指定区分	病 院 名					
	長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西
急性期一般入院料 1	○	○	○	○		
急性期一般入院料 4					○	○
急性期一般入院料 5						
D P C 対象病院	○	○	○	○		
救命救急センター	○	○				
救急告示病院	○	○	○	○	○	○
エイズ拠点病院	○	○				
エイズ協力病院			○			
がん診療連携拠点病院	○	○				
地域周産期母子医療センター	○	○				
災害拠点病院	○					
基幹災害拠点病院						
地域災害拠点病院		○	○			
地域医療支援病院	○	○	○			
へき地医療拠点病院				○		
訪問看護ステーション	○	○	○	○	○	○
訪問リハビリテーション	○		○	○	○	○
通所リハビリテーション				○	○	
指定居宅介護支援事業者	○	○	○	○	○	○
医療保険適用療養病床				44 床	6 床	25 床
介護保険適用療養病床						8 床
回復期リハビリテーション病棟			45 床	60 床		
地域包括ケア病床			44 床	120 床	34 床	30 床
I C U 病床	12 床	8 床				
H C U 病床	10 床	8 床	8 床	10 床		
透析病床	50 床	38 床	26 床	25 床	17 床	
介護医療院					34 床	
臨床研修指定病院	基幹型	○	○	○		
	協力型	○	○	○	○	○
	協力施設					○
病院機能評価認定病院	○	○	○			

看護師養成事業

1. 看護師養成の状況

区 分	1 学年 (人)	2 学年 (人)	3 学年 (人)	合 計 (人)
諏訪赤十字看護専門学校	31	27	37	95
(前 年 度)	(29)	(37)	(40)	(106)

2. 長野県支部長推薦による日本赤十字豊田看護大学在学状況

区 分	令和2年度 入 学 生 (人)	令和3年度 入 学 生 (人)	令和4年度 入 学 生 (人)	令和5年度 入 学 生 (人)	合 計 (人)
長 野 赤 十 字 病 院	0	0	0	0	0
諏 訪 赤 十 字 病 院	2	6	3	1	12
安 曇 野 赤 十 字 病 院	0	0	0	0	0
飯 山 赤 十 字 病 院	1	0	1	0	2
下 伊 那 赤 十 字 病 院	0	0	0	0	0
川 西 赤 十 字 病 院	0	0	1	0	1
合 計	3	6	5	1	15

血液事業

1. 血液センター別の供給本数

種別 区分	全血 (本)	赤血球 (本)	血漿 (本)	血小板 (本)	合計 (本)
長野センター	0 (0)	18,514 (36,934)	3,316 (8,306)	4,055 (40,675)	25,885 (85,915)
松本供給出張所	0 (0)	16,527 (32,070)	5,394 (11,986)	4,897 (49,315)	26,818 (93,371)
松本事業所	0 (0)	4,532 (8,862)	1,427 (3,056)	1,341 (13,490)	7,300 (25,408)
諏訪出張所	0 (0)	2,891 (5,780)	527 (1,151)	705 (7,085)	4,123 (14,016)
計	0 (0)	42,464 (83,646)	10,664 (24,499)	10,998 (110,565)	64,126 (218,710)
前年度	0 (0)	42,527 (83,928)	11,053 (24,826)	9,726 (98,265)	63,306 (207,019)

() 内は 200mL 献血に換算した本数

2. 血液型別複数回献血クラブ「ラブラッド」会員数

区分	A型(人)	O型(人)	B型(人)	AB型(人)	合計(人)
登録者数(人)	15,858(128)	13,613(131)	9,990(95)	4,505(47)	43,966(401)
前年度(人)	13,933(112)	11,896(119)	8,824(88)	3,669(43)	38,322(362)

() 内はRh(-)を再掲

3. 原料血漿の確保状況

区分	確保目標量(ℓ)	確保量(ℓ)	達成率(%)
令和4年度	24,579	23,629	96.1
	(全国：1,253,000)	(1,259,168)	(100.5)
前年度	24,887	24,936	100.2
	(全国：1,223,000)	(1,249,079)	(102.1)

日本赤十字社長野県支部現勢

(令和5年4月1日現在)

1 沿革
 明治22年(1889年) 長野委員部設置
 明治23年(1890年) 長野支部に改称
 昭和27年(1952年) 長野県支部に改称

2 支援者
 個人 255,783人
 法人 5,123法人
 合計 260,906

3 本社理事 0人
 4 本社代議員 6人
 5 支部評議員 40人
 6 支部役員
 支部長 阿部守一
 副支部長 関昇一郎 花岡利夫 羽田健一郎
 監査委員 牛越徹 貴舟豊 柳澤勇

7 有功会員 個人 118人 法人 73社 合計 191

8 青少年赤十字

209校 43,439人	小 学 校	67校	19,955人
	中 学 校	71	21,110
	高 等 学 校	69	2,324
	盲 学 校	2	50

9 赤十字奉仕団

90団 26,788人	地 域	77団	25,881人
	青 年	3	119
	特 殊	10	788

10 講習普及活動(令和4年度)

	講習回数	受講者数	指導者数
救 急 法	415回	9,286人	219人
水上安全法	0	0	10
健康生活支援	24	722	84
幼児安全法	38	635	77
雪上安全法	0	0	2
合 計	477	10,643	392

11 国際活動

アジア・大洋州給水・衛生ネット支援事業	630千円
パレスチナ難民支援事業	840千円
東アフリカ3か国地域保健強化事業	630千円

12 災害救護

医 療 救 護 班	常備 16班 106人
無 線 局	107局
救 護 車 両	53台
救護物資備蓄倉庫	長野市・松本市・上田市・岡谷市・須坂市・小諸市・伊那市・駒ヶ根市・中野市・大町市・佐久市・千曲市・東御市・小海町②・軽井沢・富士見町・辰野町・平谷村・喬木村・天龍村・木曾町・池田町・各赤十字施設 計 30カ所
救援物資備蓄状況	毛布 22,350枚 安眠ネット 10,169個 緊急ネット 5,892個 炬燵ネット 2,790枚

13 看護師等養成

看護専門学校	在校者数
諏訪赤十字看護専門学校	95
合 計	95

14 医療事業

病 院	病床数	介護医療院
長野赤十字病院	680床	0床
諏訪赤十字病院	455	0
安曇野赤十字病院	316	0
飯山赤十字病院	288	0
下伊那赤十字病院	72	34
川西赤十字病院	84	0
合 計	1,895	34

受入患者数(令和4年度)		1日平均
入 院	538,322人	1,476人
外 来	839,214	3,453

15 血液事業

血液センター
長野県赤十字血液センター
問御所出張所「長野献血ルーム」
松本事業所
松本公園通り出張所「松本献血ルーム」

献血者数(令和4年度)		供給本数(令和4年度)	
成分献血	25,567人	全 血	0本
400ml献血	48,208	赤血球	42,464
200ml献血	760	血 漿	10,664
合 計	74,535	血小板	10,998

16 社会福祉施設

児童福祉施設	在所者数
松本赤十字乳児院	18人

17 職員数

病 院	医 師	看護師	その他職員	合 計
長野県支部	0人	0人	15人	15人
長野赤十字病院	187	789	388	1,364
諏訪赤十字病院	128	595	425	1,148
安曇野赤十字病院	53	279	264	596
飯山赤十字病院	23	186	181	390
下伊那赤十字病院	11	72	56	139
川西赤十字病院	6	53	52	111
長野県赤十字血液センター	4	42	91	137
松本赤十字乳児院	0	5	30	35
合 計	412	2,021	1,502	3,935

18 会 計(令和4年度決算)

一般会計(支部)		収入	581,077千円	
		支出	569,471	
特別会計	医療施設	収入	63,886,469	
		支出	58,659,785	
	社会福祉施設	収入	340,072	
		支出	277,748	
	合 計		収入	64,226,541
			支出	58,937,533
合 計		収入	64,807,618	
		支出	59,507,004	

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締結国

196カ国

世界の赤十字社・赤新月社等

(発行日(令和5年7月3日)現在) 191社

1. 沿革

明治10年(1877) 5月1日 博愛社設立
明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称
昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁

名誉総裁 皇后陛下
名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
常陸宮殿下・同妃華子殿下
三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃久子殿下

3. 会員

個人 20.1万人
(令和5年3月31日現在) 法人 8.1万法人

4. 評議員

2,004人

5. 代議員

223人

6. 役員

社長 清家 篤(常勤)
副社長 鈴木 俊彦(常勤) 十倉 雅和(非常勤)
理事 61人(常勤5人、非常勤56人)
監事 3人(常勤1人、非常勤2人)

7. 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)

幼稚園・保育所等	1,780校	147,304人
小学校	7,099校	1,947,234人
中学校	3,459校	973,227人
高等学校	1,753校	370,874人
特別支援学校	210校	20,279人
その他	137校	35,237人
計	14,438校	3,494,155人
指導者	288,355人	

8. 赤十字ボランティア(令和5年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団	2,088団	806,027人
青年赤十字奉仕団	150団	5,111人
特殊赤十字奉仕団	622団	28,566人
個人ボランティア等	-	11,130人
計	2,860団	850,834人

9. 救急法等の講習

	資格登録者数(令和5年3月31日現在)		受講者数 (令和4年度)
	指導者	救急員等	
救急法基礎講習	10,765人	273,336人	33,611人
救急法	6,827人	148,147人	262,265人
水上安全法	1,465人	11,361人	30,167人
雪上安全法	203人	1,220人	367人
幼児安全法	2,270人	21,988人	46,386人
健康生活支援講習	1,709人	15,349人	30,059人
計	23,239人	471,401人	402,855人

10. 看護師等の教育

施設数	一学年養成定員	
	看護師	助産師
大学(大学院併設)	6	16校 1,145人
短期大学	1	6校 88人
看護専門学校	10	6校 149人
助産師学校	1	1校 120人
幹部看護師研修センター	1	1校 30人
計	19	

11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣(令和4年度)	16カ国	のべ61人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(スイス、マレーシア)	
国際活動費(令和4年度)		78億円

12. 国内災害救護

救護員数	8,077人(常備救護班要員を含む)	
常備救護班	487班	5,231人
無線局	(令和5年3月31日現在) 3,130局	
救護車両	2,206台	
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	99人	
災害における救護員出動数(令和4年度)	244人	
救護物資配分率(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)	11,314個	
令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)	6億2,424万3,358円	

13. 医療事業

施設数			
病院	診療所	5	
	老人保健施設	4	
	介護医療院	5	
病床総数	34,777床(令和5年3月31日現在)		
総患者数(令和4年度)			1日平均
入院	951万人	2.6万人	
外来	1,600万人	6.5万人	

14. 血液事業

施設数			
地域血液センター	47	ブロック血液センター	7
附属施設	169	附属施設(製造所)	4
(献血ルーム116を含む)		分室	1
献血者数(令和4年度)		供給本数(令和4年度)	
成分献血	158万人	輸血用製剤	1,724万本
400mL献血	330万人	車両台数(令和5年3月31日現在)	
200mL献血	12万人	献血運搬車	769台
計	501万人	移動採血車	282台

15. 社会福祉事業

児童福祉施設数(定員)		
乳児院	8(291)	医療型障害児入所施設 3(286)
保育所	3(348)	
児童養護施設	1(40)	
老人福祉施設数(定員)		
特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)	
障害者福祉施設数(定員)	複合型施設	1(定員)
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム(110)
視覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設(100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム(18)
		障害者支援施設(10)

16. 職員数(施設数)

職員数	
本社(1)	538人
支部(47)	721人
医療事業(116)	59,091人
血液事業(228)	5,819人
社会福祉事業(28)	1,234人
計	67,403人

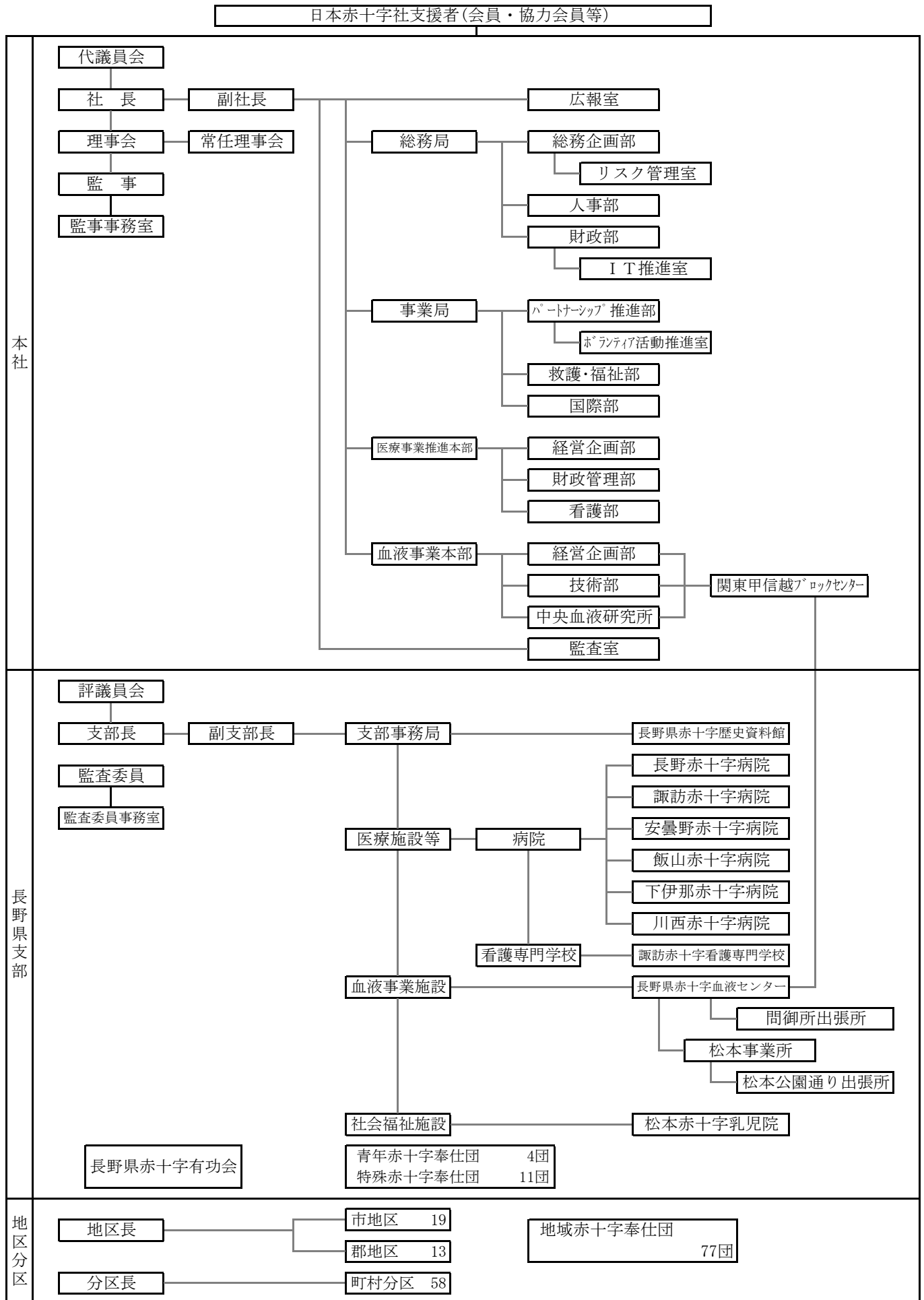
17. 会計(令和5年度当初予算)

一般会計	本社	147億8千万円
	支部	211億8千万円
医療施設特別会計		1兆1,940億7千万円
血液事業特別会計		1,630億2千万円
社会福祉施設特別会計		159億4千万円

(特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在)

日本赤十字社の機構

(令和5年4月1日現在)



日本赤十字社長野県支部役員名簿

(令和5年7月1日現在)

役職名	氏名	公職名	役職名	氏名	公職名
支部長	阿部 守一	長野県知事	評議員	荻原 健司	長野市長
副支部長	関 昇一郎	長野県副知事		寺田 裕明	長野市社会福祉協議会長
	花岡 利夫	長野県市長会長		臥雲 義尚	松本市長
	羽田 健一郎	長野県町村会長		土屋 陽一	上田市長
監査委員	牛越 徹	大町市長		今井 竜五	岡谷市長
	貴舟 豊	大桑村長		佐藤 健	飯田市長
	柳澤 勇	前長野県立病院機構監事		金子 ゆかり	諏訪市長
参 与	福田 雄一	県健康福祉部長		三木 正夫	須坂市長
	前沢 直隆	県危機管理部長		小泉 俊博	小諸市長
	青木 弘	県市長会事務局長		白鳥 孝	伊那市長
	原山 幸治	県町村会事務局長		伊藤 祐三	駒ヶ根市長
評議員	黒澤 弘	小海町長		湯本 隆英	中野市長
	両角 正芳	立科町長		牛越 徹	大町市長
	北村 政夫	青木村長		江沢 岸生	飯山市長
	宮坂 徹	下諏訪町長		今井 敦	茅野市長
	武居 保男	辰野町長		百瀬 敬	塩尻市長
	市瀬 直史	喬木村長		柳田 清二	佐久市長
	貴舟 豊	大桑村長		小川 修一	千曲市長
	小林 弘幸	朝日村長		花岡 利夫	東御市長
	平林 明人	松川村長		太田 寛	安曇野市長
	山村 弘	坂城町長		三木 正夫	県社会福祉協議会長
	桜井 昌季	小布施町長		伊藤 篤志	県民生委員児童委員協議会連合会長
	平澤 岳	山ノ内町長		碓井 稔	県経営者協会会長
	染野 隆嗣	小川村長		中條 智子	県連合婦人会長
				岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
				井出 誠一	県青少年赤十字指導者協議会長
		浅井 隆彦		県赤十字有功会長	

○ 本社役員

役職名	氏名	公職名	役職名	氏名	公職名
理 事	花岡 利夫	東御市長	代議員	岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
代議員	花岡 利夫	東御市長		福島 朝雄	県赤十字救護隊長
	羽田 健一郎	長和町長		堀込 明紀	青少年赤十字賛助奉仕団委員長
	石井 和男	前県赤十字有功会長			

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和5年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
長野市		380-0813	長野市大字鶴賀緑町 1714-5 長野市社会福祉協議会 総務課	026-225-1234
松本市		390-0833	松本市双葉 4-16 松本市社会福祉協議会 地域福祉課	0263-27-3381
上田市		386-8601	上田市大手一丁目 11 番 16 号 上田市役所 福祉課 庶務施設係	0268-71-8081
岡谷市		394-8510	岡谷市幸町 8 番 1 号 岡谷市役所 健康福祉部 社会福祉課	0266-23-4811
飯田市		395-8501	飯田市大久保町 2534 飯田市役所 危機管理部 危機管理課 防災係	0265-22-4511
諏訪市		392-8511	諏訪市高島一丁目 22 番地 30 号 諏訪市役所 社会福祉課 社会係	0266-52-4141
須坂市		382-0074	須坂市大字須坂 476-1 須坂市社会福祉協議会 助け合い起こし推進係	026-214-2994
小諸市		384-0006	小諸市与良町六丁目 5 番 1 号 小諸市社会福祉協議会	0267-25-7337
伊那市		396-8617	伊那市下新田 3050 伊那市役所 保健福祉部 社会福祉課 総務係	0265-78-4111
駒ヶ根市		399-4192	駒ヶ根市赤須町 20 番 1 号 駒ヶ根市役所 福祉課 社会福祉係	0265-83-2111
中野市		383-0042	中野市西条 70-1 中野市社会福祉協議会	0269-26-3111
大町市		398-8601	大町市大町 3887 大町市役所 福祉課 庶務係	0261-22-0420
飯山市		389-2292	飯山市大字飯山 1110-1 飯山市役所 保健福祉課	0269-67-0727
茅野市		391-8501	茅野市塚原二丁目 6 番 1 号 茅野市役所 地域福祉課 福祉 21 推進係	0266-72-2101
塩尻市		399-0786	塩尻市大門七番町 3 番 3 号 塩尻市役所 福祉課	0263-52-0280
佐久市		385-0011	佐久市猿久保 249-2 佐久市社会福祉協議会 福祉課 地域福祉係	0267-67-2463

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和5年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
千曲市		387-8511	千曲市杭瀬下二丁目1 千曲市役所 福祉課 地域福祉係	026-273-1111
東御市		389-0502	東御市鞍掛 197 東御市社会福祉協議会 総務係	0268-62-4455
安曇野市		399-8281	安曇野市豊科 6000 安曇野市役所 福祉部 福祉課 福祉政策担当	0263-71-2253
下伊那郡		395-0034	飯田市追手町二丁目 678 長野県飯田合同庁舎内 下伊那郡町村会	0265-22-0556
木曾郡		399-6101	木曾郡木曾町日義 4898-37 木曾郡町村会	0264-23-1070
南佐久郡	小海町	384-1103	南佐久郡小海町大字豊里 805 小海町社会福祉協議会	0267-92-4107
南佐久郡	佐久穂町	384-0613	南佐久郡佐久穂町大字高野町 351 佐久穂町社会福祉協議会	0267-86-4273
南佐久郡	川上村	384-1406	南佐久郡川上村原 312 川上村社会福祉協議会	0267-97-3522
南佐久郡	南牧村	384-1302	南佐久郡南牧村海ノ口 966-15 南牧村社会福祉協議会	0267-96-2363
南佐久郡	南相木村	384-1211	南佐久郡南相木村 3781-162 南相木村社会福祉協議会	0267-78-1001
南佐久郡	北相木村	384-1201	南佐久郡北相木村 2744 北相木村役場 住民福祉課	0267-77-2111
北佐久郡	軽井沢町	389-0111	北佐久郡軽井沢町大字長倉 4844-1 軽井沢町社会福祉協議会 地域福祉係	0267-45-8113
北佐久郡	御代田町	389-0206	北佐久郡御代田町御代田 1772-1 御代田町社会福祉協議会 福祉係	0267-32-1100
北佐久郡	立科町	384-2305	北佐久郡立科町芦田 2523 立科町社会福祉協議会	0267-56-1825
小県郡	長和町	386-0701	小県郡長和町和田 4253-1 長和町社会福祉協議会	0268-88-3069
小県郡	青木村	386-1601	小県郡青木村大字田沢 3231 青木村社会福祉協議会	0268-49-2129
諏訪郡	下諏訪町	393-8501	諏訪郡下諏訪町 4613-8 下諏訪町役場 保健福祉課 福祉係	0266-27-1111

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和5年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
諏訪郡	富士見町	399-0292	諏訪郡富士見町落合 10777 富士見町役場 住民福祉課 社会福祉係	0266-62-9144
諏訪郡	原村	391-0104	諏訪郡原村 6649-3 原村社会福祉協議会	0266-79-7228
上伊那郡	辰野町	399-0493	上伊那郡辰野町中央 1 辰野町役場 保健福祉課	0266-41-1111
上伊那郡	箕輪町	399-4695	上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10298 箕輪町役場 福祉課 社会福祉係	0265-79-3162
上伊那郡	飯島町	399-3702	上伊那郡飯島町飯島 2551 飯島町社会福祉協議会	0265-86-5511
上伊那郡	南箕輪村	399-4592	上伊那郡南箕輪村 4825-1 南箕輪村役場 健康福祉課 福祉係	0265-72-2105
上伊那郡	中川村	399-3801	上伊那郡中川村大草 4038-1 中川村社会福祉協議会	0265-88-3552
上伊那郡	宮田村	399-4301	上伊那郡宮田村 6838-1 宮田村社会福祉協議会 総務係	0265-85-5010
下伊那郡	松川町	399-3303	下伊那郡松川町元大島 3823 松川町役場 保健福祉課	0265-36-7022
下伊那郡	高森町	399-3193	下伊那郡高森町下市田 2183-1 高森町役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9412
下伊那郡	阿南町	399-1511	下伊那郡阿南町東條 58-1 阿南町役場 民生課 福祉係	0260-22-4051
下伊那郡	阿智村	395-0303	下伊那郡阿智村駒場 483 阿智村役場 民生課 福祉係	0265-43-2220
下伊那郡	平谷村	395-0601	下伊那郡平谷村 383-1 平谷村社会福祉協議会	0265-48-2220
下伊那郡	根羽村	395-0701	下伊那郡根羽村 2131-1 根羽村社会福祉協議会	0265-49-2288
下伊那郡	下條村	399-2102	下伊那郡下條村陽阜 1 いきいきらんど下條内 下條村社会福祉協議会	0260-27-2858
下伊那郡	売木村	399-1609	下伊那郡売木村旭 688-1 売木村社会福祉協議会	0260-28-2004
下伊那郡	天龍村	399-1201	下伊那郡天龍村平岡 878 天龍村役場 健康福祉課	0260-32-1021

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和5年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
下伊那郡	泰阜村	399-1895	下伊那郡泰阜村 3236-1 泰阜村役場 住民福祉課	0260-26-2111
下伊那郡	喬木村	395-1100	下伊那郡喬木村 6664 喬木村役場 保健福祉課	0265-33-5123
下伊那郡	豊丘村	399-3295	下伊那郡豊丘村神稲 3120 豊丘村役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9060
下伊那郡	大鹿村	399-3502	下伊那郡大鹿村大字大河原 354 大鹿村役場 住民税務課	0265-39-2001
木曾郡	上松町	399-5601	木曾郡上松町大字上松 159-4 上松町役場 住民福祉課 福祉係	0264-52-5550
木曾郡	南木曾町	399-5301	木曾郡南木曾町読書 3668-1 南木曾町役場 住民課	0264-57-2001
木曾郡	木曾町	397-8588	木曾郡木曾町福島 2326-6 木曾町役場 保健福祉課 福祉係	0264-22-4035
木曾郡	木祖村	399-6201	木曾郡木祖村藪原 1191-30 幸せテラスまめのわ内 木祖村社会福祉協議会	0264-36-3441
木曾郡	王滝村	397-0201	木曾郡王滝村 2830-1 王滝村役場 福祉健康課 福祉係	0264-48-3155
木曾郡	大桑村	399-5503	木曾郡大桑村大字長野 2775-6 大桑村役場 福祉健康課 保健係	0264-55-4003
東筑摩郡	麻績村	399-7701	東筑摩郡麻績村麻 2787 麻績村社会福祉協議会	0263-67-3099
東筑摩郡	生坂村	399-7201	東筑摩郡生坂村 6271-1 生坂村社会福祉協議会	0263-69-3000
東筑摩郡	山形村	390-1301	東筑摩郡山形村 4520-1 山形村社会福祉協議会	0263-97-2102
東筑摩郡	朝日村	390-1188	東筑摩郡朝日村大字古見 1555-1 朝日村役場 住民福祉課	0263-99-2001
東筑摩郡	筑北村	399-7501	東筑摩郡筑北村西条 3507 筑北村社会福祉協議会	0263-66-2506
北安曇郡	池田町	399-8696	北安曇郡池田町大字池田 3203-6 池田町役場 総務課	0261-62-3131
北安曇郡	松川村	399-8501	北安曇郡松川村 64-1 保健センター内 松川村役場 福祉課 健康推進係	0261-62-3290

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和5年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
北安曇郡	白馬村	399-9301	北安曇郡白馬村大字北城 7025 白馬村社会福祉協議会	0261-72-7230
北安曇郡	小谷村	399-9421	北安曇郡小谷村大字中小谷丙 2544-3 小谷村社会福祉協議会	0261-82-2430
埴科郡	坂城町	389-0602	埴科郡坂城町大字中之条 2225 坂城町社会福祉協議会 地域福祉係	0268-82-2551
上高井郡	小布施町	381-0201	上高井郡小布施町大字小布施 860-1 小布施町社会福祉協議会 地域福祉課	026-242-6665
上高井郡	高山村	382-0821	上高井郡高山村大字牧 130-1 高山村社会福祉協議会	026-242-1220
北信	山ノ内町	381-0401	下高井郡山ノ内町平穏 3371-2 山ノ内町社会福祉協議会	0269-33-1105
北信	木島平村	389-2302	下高井郡木島平村大字往郷 908-3 木島平村社会福祉協議会	0269-82-4888
北信	野沢温泉村	389-2502	下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9817 野沢温泉村社会福祉協議会	0269-85-4347
北信	栄村	389-2702	下水内郡栄村大字北信 3601-5 栄村社会福祉協議会	0269-87-3450
上水内郡	信濃町	389-1305	上水内郡信濃町大字柏原 429-17 信濃町社会福祉協議会	026-255-5926
上水内郡	飯綱町	389-1206	上水内郡飯綱町大字普光寺 920 飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課	026-253-1001
上水内郡	小川村	381-3302	上水内郡小川村大字高府 8553 小川村社会福祉協議会	026-269-2255

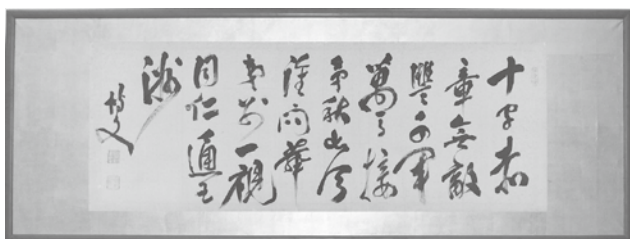
赤十字施設一覧表（本社及び県内各施設）

日本赤十字社	〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL (03)3438-1311 (代) E-Mail info@jrc.or.jp
日本赤十字社長野県支部 (長野県赤十字歴史資料館)	〒380-0836 長野市南県町 1074 TEL (026)226-2073 FAX (026)223-4181 E-Mail info@nagano.jrc.or.jp
長野赤十字病院	〒380-8582 長野市若里 5-22-1 TEL (026)226-4131 (代)
諏訪赤十字病院	〒392-8510 諏訪市湖岸通り 5-11-50 TEL (0266)52-6111 ~ 5
安曇野赤十字病院	〒399-8292 安曇野市豊科 5685 TEL (0263)72-3170
飯山赤十字病院	〒389-2295 飯山市飯山 226-1 TEL (0269)62-4195 ~ 7
下伊那赤十字病院	〒399-3303 下伊那郡松川町元大島 3159-1 TEL (0265)36-2255
川西赤十字病院	〒384-2292 佐久市望月 318 TEL (0267)53-3011 ~ 2
諏訪赤十字看護専門学校	〒392-0024 諏訪市小和田 23-27 TEL (0266)57-3275 内線 710
長野県赤十字血液センター	〒381-2214 長野市稲里町田牧 1288-1 TEL (026)214-8070
長野県赤十字血液センター 問御所出張所(長野献血ルーム)	〒380-0834 長野市問御所 1271-3 (トイーゴウエスト 2F) TEL (026)219-2480
長野県赤十字血液センター 松本事業所	〒390-0852 松本市大字島立 2174-1 TEL (0263)88-2650
長野県赤十字血液センター 松本公園通り出張所	〒390-0811 松本市中央 1-8-11 (ジブラルタ生命ビル 2F) TEL (0263)37-1600
松本赤十字乳児院	〒390-0803 松本市元町 3-8-10 TEL (0263)31-5203 (0263)34-2151 (テレフォン育児相談 専用) (0263)31-5206 (里親支援 専用)

長野県赤十字歴史資料館 ～ 赤十字の歴史 今に伝える ～

長野県赤十字歴史資料館は、明治32(1899)年に建築された支部旧事務所の一部を保存・改修したもので、建築学的にも大変貴重な建物です。

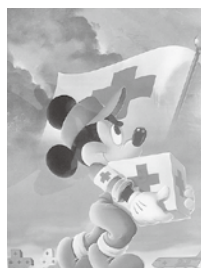
館内には、赤十字思想の普及に使用された「赤十字幻燈(明治24年)」や戦地・病院船で活動した救護員の写真・制服をはじめ、明治32年に伊藤博文侯が長野を視察した際に書いた直筆の漢詩など、全国的にも極めて貴重な資料を展示し、一般に公開しています。



伊藤博文侯の書(明治32年来長)



第1回赤十字デー
ポスター



「ディズニー」とのコラボレーションポスター
ポスター



赤十字幻燈



救護員制服

- 開館時間：平日 午前9時～午後5時
- 所在地：日本赤十字社長野県支部内
- ※ 入館要予約 TEL.026-226-2073
長野県赤十字広報奉仕団の案内ボランティアがご案内します。

赤十字講習会のご案内

日本赤十字社では、健康で安全な生活を送っていただくために、暮らしに役立つ様々な講習会を開催しています。AED(自動体外式除細動器)を使用した講習も実施しています。

救急法

幼児安全法

健康生活支援講習

水上安全法

ご希望の日時・会場に指導員を派遣いたします。

開催については、各市町村の赤十字窓口または、日本赤十字社長野県支部にお申し込みください。
(グループや職場のお仲間でもお申し込みいただけます。開催2カ月前を目安にお申し込みください。)

〈お問い合わせ・詳細については〉

日本赤十字社長野県支部

TEL.026-226-2073 又は、ホームページまでお願いします。